

専門部会での審議結果

目次

■第1部会【社会基盤：「快適に暮らすまち」】

- 1 公共交通に関する政策 ……1
- 2 中心市街地に関する政策 ……3
- 3 生活インフラに関する政策 ……5

■第2部会【市民福祉：「住みよいまち」】

- 4 地域活性化に関する政策 ……7
- 5 共生、協働に関する政策 ……9
- 6 福祉に関する政策 ……11
- 7 環境に関する政策 ……15
- 8 防災、安全安心に関する政策 ……17

■第3部会【産 業：「生き生きと働くまち」】

- 9 農林水産業に関する政策 ……19
- 10 商工業に関する政策 ……21
- 11 観光に関する政策 ……24

■第4部会【教 育：「学び成長するまち」】

- 12 文化、歴史、自然に関する政策 ……27
- 13 学校教育に関する政策 ……30
- 14 生涯学習、生涯スポーツに関する政策 ……33

- 他の専門部会からの関連意見と対応状況 ……35

答申案に反映

NO	該当箇所	意見の内容	対応
1	政策	・政策1のフレーズについて、「スマートなまち」で伝わるのか。一般の人にもスマートの意味が伝わりやすい言葉を、加えた方がよいのではないか。もう少し市民がイメージしやすい言葉を修飾語に入れて欲しい。	政策の文言を、「スマートなまち」「快適なまち」に修正。
2	施策 北陸新幹線の早期全線開業を目指す	・新幹線福井開業を受け、福井市としてどうするのがもう少し文言として見える形になっていればと思う。 ・ <u>地域はどうあるべきか</u> ということをもう少し文言として加えてはどうか。例えば <u>並行在来線や二次交通など</u> 。 ・第七次総合計画では、 <u>並行在来線の開業準備</u> が書いてあった。第八次総合計画でも、あえて言葉で出した方がわかりやすい。	施策 - 1について、「 <u>金沢・敦賀間の令和5年度末までの確実な開業と、大阪までの早期全線開業を実現するため、…北陸新幹線の建設を促進します。</u> 」に変更。 施策 - 1に、新たに主な取組(・)を追加し、「 <u>北陸新幹線福井駅を起点に、並行在来線を含めた地域鉄道、路線バス等の二次交通の充実を図り…</u> 」を追記。
3	施策 地域交通の利用を促進する	・東西をつなげる交通に積極的に取り組むべき。 ・「 <u>東西のネットワークの強化を図る</u> 」などを入れることが、施策で書きにくいようなら、現状や課題で文言を少し添えるくらいはしてもいいのではないかと、「 <u>東西を含めて全体のネットワークを強化していく</u> 」など。 ・「 <u>二次交通のネットワークとの緊密な連携によって</u> 」といった文言が施策の中で必要ではないか。	施策 - 1に、新たに主な取組(・)を追加し、「 <u>…行きたいところにスムーズに行ける『全域交通ネットワーク』を実現します。</u> 」を追記。
4	施策 地域交通の利用を促進する	・「 <u>多様な交通手段</u> 」として、カーシェア、サイクルシェアを意識した時に、同じ共通システムで利用できる環境を作ることができると良い。 <u>使う側のシステムも含めた交通体系で表現できると良い。</u> ・「 <u>使う側の視点に立った共通システムをしっかりと構築する</u> 」はキーワードとして必要かもしれない。	施策 - 2について、「 <u>利用者が目的に応じて様々な移動手段を使い分けられることができる、分かりやすく選択性のある交通環境の構築に取り組めます。</u> 」に変更。 施策 - 1について、「 <u>市民や観光客が公共交通を選択しやすくなる環境づくりのため…ICTを活用した利便性の向上に取り組めます。</u> 」に変更。
5	施策 地域交通の利用を促進する	・「 <u>交通事業者に対して必要な支援を行います</u> 」とあるが、 <u>支援は当然行っていかなければならないこと</u> 。この文言を入れる必要はあるのか。	施策 の「 <u>交通事業者に対して必要な支援を行います</u> 」との文言を削除。
6	施策 地域交通の利用を促進する	・「 <u>知ってもらって使ってもらおう</u> 」機会を増やすという文言をもう少し強化できないか。情報発信、利用啓発が全体的に足りていないと思う。 <u>情報を十分に提供するという概念がここに入るとよい。</u> 「 <u>情報を発信する</u> 」と書いた方が良い。	施策 - 3を修正し、「 <u>公共交通について『知ってもらって使ってもらおう』場や機会を提供するなど、子どもから高齢者まで、幅広い世代に向けた情報発信に取り組めます。</u> 」に変更。
7	施策 地域交通の利用を促進する	・公共交通は、重点エリアを繋ぐという利便性も大事だが、 <u>魅力をアピールする、魅力を結ぶ</u> ラインとしても重要ではないか。違う視点から捉える文言があってもよい。 ・ <u>地域の人との協働、地元の人を巻き込みながら、地域としてもネットワークの点として作っていく</u> ということなので、文言を少し考える必要があると思われる。	施策 - 4に文言を追加し、「 <u>市民生活や観光に欠かせない公共交通機関を維持するため、交通事業者、行政、地域住民…が連携して、利用促進などの活性化に取り組めます。</u> 」に変更。
8	施策 地域交通の利用を促進する	福井市の市域に関して <u>自転車</u> が走りにくい所が非常にたくさんある。 <u>その辺を今後どうしていくかということも、何らかの形で考えていかないといけないのか</u> と思う。	施策 - 5を修正し、「 <u>…レンタサイクルの利用拡大や自転車が安全で便利に利用できる環境整備に取り組めます。</u> 」に変更。
9	施策 ICTを活用して公共交通の利便性を高める	・ <u>今一番の焦点はキャッシュレス決済。</u> ・ <u>レンタサイクルもキャッシュレス決済でできるようになったら良い</u> と考えるがどうか。その辺も文言として書いておけないか。	施策 を修正し、「 <u>…キャッシュレス決済の導入など、ICTを活用した利便性の向上に取り組めます。</u> 」に変更。
10	その他	・ <u>MaaSの注釈</u> を入れて、文言の補足があると良い。	欄外に、注釈を追記。

政策1 公共交通に関する政策



公共交通を利用して様々な人が便利に行き来できる
快適なまちをつくる

誰もが利用しやすい公共交通となるよう、地域鉄道及び路線バス等の利便性の向上を図ります。
市民にとっても観光客にとっても利用しやすい公共交通ネットワークの維持・強化に取り組みます。

1

現状

北陸新幹線は、地方創生の推進や地域経済の活性化、国土強靱化に極めて大きな効果をもたらします。そのため、全線開業を早期に実現することが求められています。

本市の地域交通においては、これまで田原町駅におけるえちぜん鉄道及び福井鉄道相互乗り入れや、福井駅西口広場での交通結節の強化、幹線軸と地域を結ぶフィーダー交通（地域コミュニティバス等）の充実などに取り組んできました。

また、駅利用者の利便性確保に向け駐車場や駐輪場の整備を行うとともに、回遊性向上のためレンタサイクルの推進に取り組んできました。

今後は、並行在来線を含め、市民の日常生活に配慮した交通サービスの提供や、新しい生活様式の中での公共交通機関の利用促進、また、新幹線開業に伴う観光・ビジネス客など交流人口の拡大に対応できる地域交通となるよう、市内の地域拠点を有効に活用しながら、さらなる利便性の向上を図る必要があります。

課題

北陸新幹線の早期全線開業

日常の移動手段の確保と、交通サービスの充実

ICTを活用した利便性の向上

地域拠点の有効活用

施策

北陸新幹線の早期全線開業を目指す

- 金沢・敦賀間の令和5年度末までの確実な開業と、大阪までの早期全線開業を実現するため、県及び関係団体と連携し、北陸新幹線の建設を促進します。

公共交通の利用を促進する

- 北陸新幹線福井駅を起点に、並行在来線を含めた地域鉄道、路線バス等の二次交通の充実を図り、行きたいところにスムーズに行ける「全域交通ネットワーク」を実現します。
- 利用者が目的に応じて様々な移動手段を使い分けられることができる、分かりやすく選択性のある交通環境の構築に取り組みます。
- 公共交通について「知ってもらって使ってもらい」場や機会を提供するなど、子どもから高齢者まで、幅広い世代に向けた情報発信に取り組みます。
- 市民生活や観光に欠かせない公共交通機関を維持するため、交通事業者、行政、地域住民、観光関連企業等が連携して、利用促進などの活性化に取り組みます。
- 公共交通機関と連携した駐車場及び駐輪場の整備を行うとともに、レンタサイクルの利用拡大や自転車安全で便利に利用できる環境整備に取り組みます。

ICTを活用して公共交通の利便性を高める

- 市民や観光客が公共交通を選択しやすくなる環境づくりのため、県や近隣市町と連携して、MaaS システムやキャッシュレス決済の導入など、ICTを活用した利便性の向上に取り組みます。

Mobility as a Serviceの略。目的地までの移動について、複数の交通機関の中から、各個人に最適な経路や移動手段を組み合わせ、一括に提供するサービスのこと。

地域拠点の機能充実を図り、公共交通利用者の利便性向上を図る

- 日常生活に必要な機能を備えた地域拠点づくりを進めます。
- 持続可能な地域内の移動手段を確保するために、交通事業者と協力したフィーダー交通の効率的な運用を行います。

フィーダーとは「枝」という意味で、交通分野では「幹線」に対する「支線」を指す。福井市では、中心市街地と地域拠点（日常生活に必要なサービス等が集積した地域の生活拠点）を結ぶ移動手段である「公共交通幹線軸」に対し、地域拠点とその周辺地域を結ぶ地域内交通を「フィーダー交通」としている。

答申案に反映

NO	該当箇所	意見の内容	対応
1	施策 県都にふさわしい魅力あるまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・「訪れた人が、楽しく歩ける、居心地の良いまちづくり」とあるが、<u>居住空間がたくさん生まれてきているので、「ここに住もう人」も加えた方がよいのではないか。</u> ・「働く人」の部分も必要になるのではないか、<u>いくなれば、あらゆる人が、</u>ということになる。 	<p>政策の説明文について、「<u>住む人、訪れる人が、楽しく歩ける居心地の良いまちづくりを進めます</u>」に変更。</p> <p>施策 -4について、「<u>まちなかに住む人や訪れる人が、快適に歩いて楽しめる歩行者空間を創出します</u>」に変更。</p>
2	施策 県都にふさわしい魅力あるまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・高度利用と書くと、ぱっと見たときにはハード整備という印象を持たれてしまうかもしれない。 ・台湾で50年以上前の日本統治時代の建物をクリエイターが活用し、デザイン力で世界最先端に発展させている。それを福井のまちなかでやれば、変わると思う。 ・<u>文化的な取組であることがもう少し書かれていてもよいのでは。</u> 県も街中で気軽に音楽ができるような仕組みを作っていこうと5月から動くようである。 ・<u>既存ストックをしっかりと地域資源として理解したうえで活かすということが大事。</u> ・<u>アーティストに特化する形ではなく、今ある既存ストックを活かすということが書けるかどうか。</u> 	<p>施策 -2について、「<u>土地の高度利用</u>」という表現を修正し、「<u>低未利用地の有効活用や老朽建築物の更新等により、商業・文化・業務等の都市機能の充実を図ります。</u>」に変更。</p> <p>施策 -3について、文言を追加し「<u>個性的で魅力あるまちづくりを進めるため、既存ストックを活かした、まちなかのリノベーションを支援します。</u>」に変更。</p>
3	施策 にぎわい創出のための仕掛け、仕組みをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地はJRの西側が主になっている。<u>JRの東側も若干は中心市街地に加わるのではないか。</u> ・<u>文化的な街</u>ということで、福井市の歴史博物館(70歳以上は無料)や美術館は素晴らしい施設なので、<u>知ってもらえればもっと人が来るのではないか。</u> また、ハピリンもすごく充実している。<u>文化的施設と商業施設を拠点にした賑わいのある街づくりも大切ではないか。</u> 	<p>施策 -1について、文言を追加し、「<u>ハピリンやアオッサ等を拠点とした福井の魅力の情報発信や、周辺の商店街とも連携し、まちなか全体のにぎわい創出に取り組みます。</u>」に変更。</p>
4	施策 うるおいと個性あるまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・施策 -2に、「足羽山、足羽川、荒川の資源を活用する」と入れておけば、旭小の荒川の辺りまでを想定しているということがわかるのではないか。 ・あまり具体的な場所を書いてしまうと中心市街地の位置づけがおかしくなってしまう可能性があるため、<u>まち全体をよくしていくというような書き方ができればよいのではないか。</u> 	<p>施策 -2について、「<u>足羽山や足羽川等のまちなかの水と緑の空間を活かし、うるおいと安らぎのある空間をつくります。</u>」に変更。</p>
5	施策 うるおいと個性あるまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・意味としては入っているが、<u>言葉として「景観」が入っていないのが寂しい。</u> ・福井には全国に何か所しかない路面電車が走っている。全国的に見ても特徴的であり魅力的だが、<u>中心市街地に関する政策に言葉として表れていないのはもったいない。</u> ・<u>文言に路面電車を入れる必要はないが、地域特有の資源ということを言ってもらえたらよい。</u> 七総では風格という言葉がキーワードとしてあったかと思うが、これも景観と合わせて、歴史を感じさせる、質を上げるという意味であってもよいのではないか。 	<p>施策 -3について「<u>豊富な歴史資源や市民に親しまれてきた景観を継承し、魅力と個性のある景観を創出します。</u>」に変更。</p>

具体的な取組として検討

NO	該当箇所	意見の内容	対応
1	施策 にぎわい創出のための仕掛け、仕組みをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・再開発や新幹線が整備された後の視点に立つと、<u>夜間の賑わいや回遊性などを入れていってもよいのでは。</u> ホテル、住宅が整備で増えてくる中で、<u>夜間の賑わいをどう作り、それを回遊させるかということも総合計画で謳われているとよい。</u> ・政策2の施策 -2の中に、「<u>・</u>」を追加して夜間景観を入れるとともに、<u>政策11の所にも入れる形でどうか。</u> 福井は夜間の計画が全然できていないと外部から来られる方に指摘されるので、<u>敢えてここで項目を立てるのはよいかもしれない。</u> 	<p>政策11「観光に関する政策」に関する意見として、第3部会にて議論を行った。その結果、<u>夜間観光については、具体的な取組として検討していくこととなった。</u></p>
2	施策 にぎわい創出のための仕掛け、仕組みをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>アニメ、ドラマ、小説などと連携したしかけ(ロケツーリズム)を創出してくということもどうか。</u> 福井を訪れる人で小説の舞台を巡る 聖地巡礼を行っている人もいるようなので、<u>そういう方向にも力を入れるというニュアンスのことが入れられないか。</u> 	<p>政策11「観光に関する政策」に関する意見として、第3部会にて議論を行った。その結果、<u>ロケツーリズムについては、具体的な取組として検討していくこととなった。</u></p>

政策2 中心市街地に関する政策



まちなかの充実した都市機能により、にぎわいと交流のあふれる心弾むまちをつくる

県都の玄関口として充実した都市機能を活かし、にぎわいあふれるまちづくりを進めます。
住む人、訪れる人が、楽しく歩ける、居心地の良いまちづくりを進めます。

1

現状

課題

施策

北陸新幹線福井開業を見据え、中心市街地では、民間主体のまちづくりの機運が高まる中、県都の玄関口としてふさわしい魅力と風格ある市街地の再整備が進められています。

新たな都市の魅力の創出のため、道路や公園等の公共空間を活用した新たな仕掛けづくりを行うなど、まちなかを訪れる市民や観光客、ビジネス客等が心躍るような、にぎわいにあふれるまちづくりが求められています。

ハピリンやハピテラス等のにぎわい交流拠点を活かしながら、まちなかの空間整備や民間団体等のまちづくり活動への支援を行い、さらなるにぎわいと交流の創出を図ることが必要です。

また、まちなかの里山として市民に親しまれている足羽山や、リニューアルした福井市中央公園を、新たな福井の魅力を発信する場として、より魅力あるものとしていく必要があります。

魅力あふれる空間づくり

さらなるにぎわいの創出

歴史、水、緑など地域資源の有効活用

県都にふさわしい魅力あるまちをつくる

- 民間主体の市街地再開発事業を支援し、市街地のリニューアルを進めます。
- 低未利用地の有効活用や老朽建築物の更新等により、商業・文化・業務等の都市機能の充実を図ります。
- 個性的で魅力あるまちづくりを進めるため、既存ストックを活かした、まちなかのリノベーションを支援します。
- まちなかに住む人や訪れる人が、快適に歩いて楽しめる歩行者空間を創出します。

にぎわいの創出のための仕掛け、仕組みをつくる

- ハピリンやアオッサ等を拠点とした福井の魅力の情報発信や、周辺の商店街とも連携し、まちなか全体のにぎわい創出に取り組みます。
- 中央公園・ソライロテラスなどの公共空間を活用した民間イベントを支援します。
- 高架下の活用により、福井駅周辺の機能の充実を図ります。

うるおいと個性あるまちをつくる

- 福井城址および周辺の資源を活用し、福井城址を中心とした魅力向上を図ります。
- 足羽山や足羽川等のまちなかの水と緑の空間を活かし、うるおいと安らぎのある空間をつくります。
- 豊富な歴史資源や市民に親しまれてきた景観を継承し、魅力と個性のある景観を創出します。

答申案に反映

NO	該当箇所	意見の内容	対応
1	政策	・政策3のタイトルが、少し堅い。生活インフラは未来永劫維持していかないといけないので、「持続可能な」というキーワードを載せてもいい。「強靱な」となるとハード整備のイメージが強くなるので、少しソフトなイメージが入るように文言に変えてはどうか。	政策のタイトルについて、「 <u>持続可能で強靱な社会基盤と安全で快適な生活環境が整ったまちをつくる</u> 」に変更。
2	政策	・ハード整備となると、どうしても行政にやってもらおうという印象になる。我々市民もやらなくてはいけないというイメージに変えていくということも大事。施策の中で表現するのは難しいので、そういった意識が醸成できるような文言を政策の所で掲げるといい。	政策について、「 <u>市民や企業等と連携して、安全で快適な生活環境を保全します</u> 」を新たに追加。
3	施策 強靱な社会基盤を構築する	・素案の文言が抽象的なので、具体的な言葉が入ってもよいのでは。 ・道路について、年間の4分の1は雪に関係する地域なので、「年間を通して快適な生活ができるような道路環境の整備」や「 <u>雪に強い</u> 」などを入れた方がいいのではないかと。 ・七次総合計画の期間中に大雪が2回発生しているが、文言に入っていない。 ・地震と水害も怖いので、強靱化を図るのであれば、何か文言を入れていただきたい。	施策 -1について、「 <u>道路施設の計画的で効率的な整備・維持管理を行い、大雪などの自然災害に強い安全で快適な環境を確保します。</u> 」変更。
4	施策 強靱な社会基盤を構築する	・施策 -3は、抽象的で、ぼんやりとした表現となっている。 ・大胆に具体的な事例を出して、表記した方がよい。	施策 -3について、「 <u>建築物の耐震化を進め、誰もが安心して暮らせる住環境づくりを進めます。</u> 」に変更。
5	施策 強靱な社会基盤を構築する	・嶺北連携中枢都市圏の中心都市という立場になったため、他の市町との連携的な視点での言葉が入ってもいいのではないかと。 <u>連携</u> というキーワードを入れた方がよい。 ・災害発生時における災害の後始末として、市民生活に及ぼす影響が大きいものとして災害ゴミがあるが、 <u>どう対処するのか</u> 。福井市のごみ始末は最終的に群馬県に運んでいるが、この負担をいかに少なくするかということを考えておかないと、将来的にはいつまでたっても他県に福井市のごみの後始末をお願いする状態が続くのではないかと。	施策 -4について、「 <u>大規模な自然災害に備え、日頃から強靱な社会基盤の整備を進めて被害を最小限に抑えるとともに、災害発生時に迅速な復旧が行えるよう、県や近隣市町との連携強化を図ります。</u> 」に変更。
6	施策 安全で快適な生活環境を保全する	・税収が減る中で大変になる生活インフラの確保について、行政だけではできないので <u>民間の力を借りてやっていく</u> ということを書いた方がよい。 ・施策 -2で、 <u>地域</u> という言葉ではイメージしにくいので、 <u>もっと地域の人たちを巻き込んでいくんだ</u> という書き方に変えることはできないか。	施策 -2について、「 <u>地域</u> 」の文言を削除し、「 <u>市民、行政、企業等が協働しながら、公園の整備・維持管理及び利活用を進めます。</u> 」に変更。
7	施策 安全で安心な上下水道のサービスを提供する	・簡易水道では、時々断水してしまうことがある。快適に生活するためには、水問題にしっかり取り組まなければならない。施策 -1では「 <u>水道施設の計画的な更新</u> 」と書いてあるが、 <u>すべての市民に同じ条件の水が行き渡るような努力をするために、もう少し言葉を足してはどうか。</u>	施策 -1について、「 <u>上水道及び簡易水道の適切な水質管理と、施設の計画的な更新及び耐震化を進め、安全で安心なおいしい水を安定的に提供します。</u> 」に変更。

具体的な取組として検討

NO	該当箇所	意見の内容	対応
1	施策 安全で快適な生活環境を保全する	・空き家では、下水の問題があり、利活用が難しい場合がある。 <u>空き家の問題には、税法上の問題や個人の資産の問題などがあるが、利活用に関する支援事業があれば、空き家が減るのではないかと。</u>	現在、老朽危険化した空き家等の除却支援、空き家無料相談会の開催、利活用を図るため福井市空き家情報バンクによる情報発信などに取り組んでいる。今後、関係所属や外部機関と連携し、さらなる相談体制の充実を図っていく。

その他(反映が困難であったもの)

NO	該当箇所	意見の内容	対応
1	施策 安全で快適な生活環境を保全する	-2では「 <u>公園の…利活用を進めます</u> 」と書かれており、次の-3でも「 <u>空き家…利活用を図る…</u> 」と、「 <u>利活用</u> 」という同じ言葉が続くので、少し気になる。	公園の利活用と、空き家の利活用による空き家の発生の抑制は、それぞれ異なる取組であるため、 <u>変更をしないこと</u> としたい。

政策3 生活インフラに関する政策



1 持続可能で強靭な社会基盤と安全で快適な生活環境が整ったまちをつくる

市民が安全・安心に生活できるよう、災害に強い社会基盤の整備と、適切な維持管理を行います。

2 市民や企業等と連携して、安全で快適な生活環境を保全します。

市民の信頼に応える良好な水環境を保つとともに、安全で安心な水を安定供給します。

現状

頻発する自然災害に備え、市民が安全・安心に暮らせるよう、道路、河川、下水道等の社会基盤の強靭化と、適切な維持管理に努めています。

特に、高度経済成長期に整備した施設が更新時期を迎えているため、点検調査を実施し、長寿命化による効率的な更新・維持管理に取り組んでいるところです。

水道事業では、水需要の増加を前提とした拡張の時代から転換し、水道水の安定供給を継続する更新・再構築の時代を迎えています。中長期的な視点に立った計画的な施設更新と耐震化を進め、健全で災害に強い水道を整備することが重要となっています。

下水道事業では、未だ汚水処理施設を利用できない未普及地区の解消や、老朽化に伴う不具合を未然に防ぐための計画的な改築・更新、さらに効率的で適正な施設の維持管理を行う必要があります。

課題

強靭な社会基盤の構築

良好な生活環境の保全

健全で安定したサービスの提供

施策

強靭な社会基盤を構築する

- 3 道路施設の計画的で効率的な整備・維持管理を行い、大雪などの自然災害に強い安全で快適な環境を確保します。
- 4 河川、水路及び下水道施設の計画的な整備・維持管理により、大雨による浸水被害を軽減します。
- 5 建築物の耐震化を進め、誰もが安心して暮らせる住環境づくりを進めます。
- 6 大規模な自然災害に備え、日頃から強靭な社会基盤の整備を進めて被害を最小限に抑えるとともに、災害発生時に迅速な復旧が行えるよう、県や近隣市町との連携強化を図ります。

安全で快適な生活環境を保全する

- 6 市民、行政、企業等が連携し、良好な河川環境を保全します。
- 7 市民、行政、企業等が協働しながら、公園の整備・維持管理及び利活用を進めます。
- 8 空き家除去への支援を行い、適正な管理を促進するとともに、利活用を図ることで、空き家の発生を抑制します。

安全で安心な上下水道のサービスを提供する

- 7 上水道及び簡易水道の適切な水質管理と、施設の計画的な更新及び耐震化を進め、安全で安心なおいしい水を安定的に提供します。
- 8 公共水域の水質を保全するため、公共下水道の整備を計画的に進め、下水道の未普及地区の解消を図ります。
- 9 下水道の持続的な機能確保のため、計画的に下水道施設の更新や耐震化及び耐水化を行い、適正な維持管理を図ります。
- 10 効率的な事業運営と経費節減に努め、収支のバランスを図り、健全で安定的な経営を行います。

答申案に反映

NO	該当箇所	意見の内容	対応
1	課題	・課題の「若者の県外流出抑制」と、その施策としての「関係人口の創出」は、つながりが合っていないのではないか。	課題及び課題について、「課題」と「施策」の関係性が合うように、下記のとおり修正。 課題「若者の県外流出抑制」「移住に向けた人の流れの創出」 課題「移住に向けた人の流れの創出」「若者・子育て世代の移住定住の推進」
2	施策 ライフステージに応じた人材還流を促進する	・市は住みよさをよくPRするが、安心度や快適度は実際高くない。指標の改善に向け、住みよさの何を情報発信するのか考えるべきでは。	本市の住みよさのうち、特に「子育て環境」や「教育環境」の充実などを発信するため、施策-2について、「充実した子育て、教育環境など、本市の住みよさのさらなる向上に努め、それらを市内外に強く情報発信します。」に修正。
3	施策 地域の資源を活かし、安心して住み続けられる住環境をつくる		施策-1について、「子育て・新婚世帯やUIターン世帯の暮らしに適した住宅の確保を支援します。」に変更。
4	施策 地域の活性化や地域コミュニティの維持に取り組む	・若い人の自治会入会意識が薄れている。また自治会の高齢化、団体の高齢化などの問題がある。団体の在り方や担い手不足の解消を図るには、団体そのものの数、委嘱の数の見直しが必要。	施策について、「人口減少・少子高齢化に対応できる地域のあり方を自治会など地縁団体とともに考え、持続可能な地域社会の実現に取り組みます。」を新たに追加。

政策4 地域活性化に関する政策



地域の魅力を発信して人の流れを呼び込み、持続可能で活気あふれるまちをつくる

地域の活性化や将来的なUターンにつなげるため、関係人口の創出により裾野拡大に取り組みます。地域の特色や魅力を発信するとともに、地域資源や空き家の利活用を推進し、移住・定住を促進します。地域の自主的なまちづくり事業を推進し、まちの活性化につなげます。

現状

本市ではこれまで人口減少に打ち克つための様々な施策に取り組むことで、人口減少の進行度合いを緩和してきましたが、歯止めをかけるまでには至っていません。

将来にわたって本市の活力を維持し、安心して豊かな暮らしを維持していくためには、県外への若者の転出超過の改善など、引き続き取り組むべき課題が山積しています。

地域においては、これまで活力ある地域づくりのため、住民主体のまちづくりを支援し、それぞれの特色を活かした取組や魅力を発信する事業を推進してきました。

一方で、住民同士のつながりの希薄化が進んだことにより、自治会未加入世帯が増加しています。また人口減少や少子高齢化等に伴い、自治会活動の担い手が不足するなど、地域活力の低下が懸念されています。

北陸新幹線福井開業を弾みとして、さらなる本市への人の流れづくりや、暮らしやすい、働きがいのある住みよいまちづくりを推進し、地域活力を強化することが求められています。

課題

1 移住に向けた人の流れの創出

1 若者・子育て世代の移住定住の推進

誰もが安心して住み続けられる豊かな生活環境の整備

地域コミュニティの持続と、特色のあるまちづくりの促進

施策

福井とつながる人口の対流を創出する

- 多様な形でつながりを持つ関係人口の創出・拡大に取り組み、地域の活性化や将来的な移住に結びつけます。
- 本市の恵まれた自然環境など地域資源を活かした新しい働き方、暮らし方の提案などにより、本市と他地域との間で持続的な人口の対流を創出します。

ライフステージに応じた人材還流を促進する

- 高校生や大学生、社会人など、ライフステージに応じた地元定着やUターンの促進に取り組みます。 2
- 充実した子育て、教育環境など、本市の住みよさのさらなる向上に努め、それらを市内外に強く情報発信します。
- 移住相談体制の充実や住まいの確保、移住に関する経済的負担の軽減等に取り組み、本市への人材還流を促進します。

地域の資源を活かし、安心して住み続けられる住環境をつくる

3

- 子育て・新婚世帯やUターン世帯の暮らしに適した住宅の確保を支援します。
- 空き家の活用を含めた住宅支援により、定住人口の維持に繋げていきます。
- 高齢者や障がい者などが円滑に住宅を確保できるよう支援します。

地域の活性化や地域コミュニティの維持に取り組む

- 地域自らが未来の姿を描いた地区ビジョンの実現につながるまちづくり活動を支援します。
- 人口減少や高齢化が進んでいる中山間地域・過疎地域の集落機能や地域コミュニティの維持活性化を図ります。
- 地域おこし協力隊による地域資源を活用した取組を通じて、地域の活性化を図りながら、都市部の若者の定住・定着に結びつけます。 4
- 人口減少・少子高齢化に対応できる地域のあり方を自治会など地縁団体とともに考え、持続可能な地域社会の実現に取り組みます。

答申案に反映

NO	該当箇所	意見の内容	対応
1	施策 誰もが活躍できる社会の実現を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・八総では女性に関する施策の記載が少ない。女性に対する施策にもっと力を入れるべき。 ・七総にある「女性が輝く社会の実現を図る」を残しておくべきではないか。 ・「誰もが活躍できる」に女性を入れてしまうと、文言が曖昧になり、言葉の意味合いが変わってくる気がする。検討してほしい。 ・女性と書きづらい時代になっているのかもしれないが、女性の活躍に力を入れていることを表すためにも七総の言葉はよかったと思うので、入れていただきたい。 ・「誰もが」と「女性が」の2本立ての施策でいくべきではないか。 	<p>女性活躍に関する施策を新たに設置し、施策「女性が輝きいきいきと暮らせる社会の実現を図る」を設定。</p> <p>従前の施策「誰もが活躍できる社会の実現を図る」と、新たな施策「女性が輝きいきいきと暮らせる社会の実現を図る」の2本立てとした。</p>
2	施策 誰もが活躍できる社会の実現を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の部分で、福井市では障がい者の社会参加や就労支援もまだ足りていない。高齢者も70歳までの雇用義務が生じている。障がい者や高齢者の社会参加についても入れていただきたい。 	<p>施策-1について、「誰もがそれぞれの個性や能力に基づき、活躍できる社会づくりを推進します。」に変更。</p>
3	施策 誰もが活躍できる社会の実現を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・人権センターでは性的マイノリティの相談が増えている。越前市では70程の書類で性別の記載欄を削除しているが、福井市では性別の記載を求めるものがあり、配慮が遅れているという意見がある。福井市でも性別欄の削除などをお願いしたい。 ・性的マイノリティもこの中に入るのであれば、入れてもらえるとういのでは。 	<p>施策-2について、「人権教育・啓発に取り組み、一人ひとりの多様性や、人権が尊重される地域社会の実現を図ります。」に変更。</p>
4	施策 誰もが活躍できる社会の実現を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・女性が管理職に就けないのは何かの障害があるのではないかと、障害があっても活躍できない。女性をもっと増やしていかなければ大変なことになる。そのあたりを踏まえて、相応しい文言を選んで入れてもらいたい。 	<p>施策-1を「女性が職場や社会のあらゆる分野で、リーダー的役割を果たし活躍できる機会の拡大を目指します。」とした。</p> <p>施策-2「女性にとって不安や負担のない充実した家庭生活の実現を目指すとともに、仕事と生活の調和を図るワークライフバランスの実現に向けた取組を進めます。」とした。</p>
5	施策 ボランティアの力を高め市民と行政が力を合わせる協働のまちづくりを進める	<ul style="list-style-type: none"> ・社協でもボランティアセンターの看板を掲げている。社協は福祉関係ということで総合ボランティアセンターとは住みわけがなされているので、社協のボランティアセンターのことも入れてもらってもよいのではないかと。 	<p>施策-1について、「総合ボランティアセンターを拠点に、関係団体と連携し、市民のボランティア活動への関心や意欲を高め、継続的な活動に繋げるための支援を行います。」に変更。</p>

具体的な取組として検討

NO	該当箇所	意見の内容	対応
1	施策 ボランティアの力を高め市民と行政が力を合わせる協働のまちづくりを進める	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアについてはどの自治体を見ても中身は変わっていない。七総と八総で文言は変わったが、中身は同じ。ボランティア活動が地域を活性化するものだと考えている。総合ボランティアセンターはしっかりやっているが、その広がりが見えてこないように思う。このままの施策でよいのか。 	<p>実施計画の策定にあたり、総合ボランティアセンターにて実施する具体的な事業を検討していく。</p>

政策 5 共生、協働に関する政策



誰もが尊重され、それぞれの個性や能力を發揮しながら、活躍できるまちをつくる

性別や年齢等にとらわれず、一人ひとりの個性や能力を活かし、あらゆる分野での活躍につなげ、全ての人がともに担う地域社会づくりを推進します。
様々な国の人たちが手をつなぎ、共に支えあうまちづくりに取り組みます。

現状

誰もが尊重され、地域社会で安心して暮らすことができ、また、活躍できるまちづくりを進めるためには、相互の価値観や多様性を認め合える意識づくりが重要です。

本市では、女性の就業率の高さに比べて、女性管理職の割合は低い状況です。家庭生活における女性の家事・育児等の負担が大きいことが、女性のキャリア形成を阻む要因のひとつとなっています。

近年、本市の在留外国人の数及び人口に占める割合は、いずれも過去最高を更新しています。特にベトナムやフィリピンなど東南アジアから、技能実習や留学のために在留する外国人が増加しています。

市民を含め、様々な国の人たちが安心して支え合えるまちづくりが求められています。

これまで総合ボランティアセンターを拠点に、市民のボランティア活動や市民活動を総合的に支援し、市民の公益的な活動への理解と参加促進を図ってきました。今後も市民のボランティアの力を高め、市民と行政が共に支え合う社会を目指す必要があります。

課題

誰もが個性と能力を發揮できる社会の推進

女性が活躍できる社会の推進

多文化共生の促進、国際交流の推進

ボランティア活動、市民活動への参画の促進

施策

1 誰もが活躍できる社会の実現を図る

2 • 誰もがそれぞれの個性や能力に基づき、活躍できる社会づくりを推進します。
• 人権教育・啓発に取り組み、一人ひとりの多様性や、人権が尊重される地域社会の実現を図ります。

3

1 女性が輝きいきいきと暮らせる社会の実現を図る

4 • 女性が職場や社会のあらゆる分野で、リーダー的役割を果たし活躍できる機会の拡大を目指します。
• 女性にとって不安や負担のない充実した家庭生活の実現を目指すとともに、仕事と生活の調和を図るワークライフバランスの実現に向けた取組を進めます。

多文化共生のまちづくりと国際交流を推進する

- 日本人・外国人の誰もが同様に市民サービスを受取り、安心して暮らせる環境を整備するとともに、国籍や文化、言語の違いを超えて、相互に理解し合い活躍できるまちづくりを推進します。
- 姉妹友好都市とのつながりを活かし、教育、文化等での交流を進めるとともに、市民や団体による国際交流活動を支援することで、市民の国際理解を深め、グローバル化に対応できる人材の育成につなげます。

ボランティアの力を高め市民と行政が力を合わせる協働のまちづくりを進める

5

- 総合ボランティアセンターを拠点に、関係団体と連携し、市民のボランティア活動への関心や意欲を高め、継続的な活動に繋げるための支援を行います。
- 市民と行政が協力し、役割を担う市民協働を進めます。

答申案に反映

NO	該当箇所	意見の内容	対応
1	施策 子どもが健やかに生まれ育つ環境をつくる	・施策 -1に「結婚への後押しを図る」とあるが、多様性が尊重される中においては「結婚支援策を一層推進する」の方が良いのではないか。	施策 -1について「結婚を考える若者を中心とした世代に対して、出会いから交際、結婚に至るまでの一貫した支援を推進します。」に変更。
2	施策 子どもが健やかに生まれ育つ環境をつくる	・施策 -4に「支援が必要な母子を…」とあるが、父子もある、「ひとり親世帯」に変えたほうがよいのではないか。	施策 -4について「支援が必要な母子を…」を、「支援が必要な家庭を…」に変更。
3	施策 子どもが健やかに生まれ育つ環境をつくる	・虐待に近い状態を含めた「マルトリートメント」という言葉を使って、「児童虐待(マルトリートメント)」としてはどうか、または、注釈などでも良い。	施策 -5について「児童虐待(マルトリートメント)」に変更し、注釈を追加。 「マルトリートメント」とは、「大人の子どもの不適切なかかわり」を意味する言葉であり、児童虐待の意味を広く捉えた概念。
4	施策 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる環境をつくる	・施策 第七次総合計画には「高齢者がこれまで培ってきた…」の文言があったが、高齢者自身が目標を持ち、生きがいを持って生きるということが必要ではないか。 ・課題 「いきいきと活躍できる体制」とあるが、施策 に対応する施策が入っていない。	施策 について、「高齢者が仕事や趣味、地域活動等の様々な社会参加を通して、元気に、いきいきと活躍できる体制づくりを進めます」を新たに追加。
5	施策 障がいや難病等を抱える人が地域で安心して生活できるよう支援する	・第七次総合計画には障がい者の「就労支援の充実」があったが、第八次総合計画では「自立や社会参加」の表現となっている。障がい者の雇用を守ることも重要なので、入れた方が良いのでは。	施策 -1について「…障がいや難病を抱える人の状況やニーズに応じ、自立に向けた就労や社会参加を支援します。」に変更。
6	施策 障がいや難病等を抱える人が地域で安心して生活できるよう支援する	・施策 -2「共生社会の実現を～」の部分について、市長ビジョンでは相手を思いやる「心のバリアフリーを推進する」とあった。「理解促進」ではなく、施設設備面のバリアフリーと心のバリアフリーを入れて欲しい。	施策 -2について「…障がいに対する更なる理解促進やバリアフリーの推進、災害時の支援体制づくりに取り組みます。」に変更。 「障がいに対する理解の促進」及び「バリアフリーの推進」については、第4次福井市障がい者福祉基本計画の個別施策として取り組んでいく。
7	施策 複雑化・複合化する支援ニーズを包括的に受け止める体制をつくる	・課題 に「ひきこもり」の文言を使っているが、「社会的孤立」の方が良いのではないか。	課題 、施策 について、下記のとおり変更。 課題 について「ひきこもり」の文言を削除し、「複雑化・複合化する問題に対応するための地域や各種機関の連携による支援体制の構築」に変更。 施策 のタイトルについて、「複雑化・複合化する支援ニーズを包括的に受け止める体制をつくる」に変更。 施策 -1について「相談先がわからない相談や分野をまたぐ複合的な相談等を包括的に受け止め、多機関が協働して必要な支援を行います。」に変更。 施策 -2について「多様な社会参加に向けた支援を行うとともに、地域における活動の担い手の育成や活動団体のネットワーク強化を促進します。」に変更。
8	施策 公衆衛生の向上や健康管理の強化に取り組む	・施策 -1に、いくつかの病名が事例としてあがっているが、「新型コロナウイルス」を入れた方が良いのではないか。 ・後で振り返った時にも、「新型コロナウイルス」の文言があるとわかりやすいと思う。	施策 -1について「結核やエイズ、新型コロナウイルス感染症等、様々な感染症の発生やまん延の防止に向けた取組を推進します。」に変更。

具体的な取組として検討

NO	該当箇所	意見の内容	対応
1	施策 生活習慣病予防に取り組むなど生涯にわたる健康づくりを支援する	・就労を目的として海外から入国している人に対し、 <u>外国人の病気への対策も考えてもらえる</u> と良いのではないかと思う。	総合計画では、 <u>広く市民の健康のための取組を実施することから、特に外国人に特化した取組としては記載しない。</u> 具体的取組として、本市在住の外国人も疾病の早期発見や生活習慣病を予防できるよう、 <u>健診(検診)や、企業に出張して行う健康づくりや生活習慣病予防講座など</u> について、 <u>引き続き広報していく。</u>
2	施策 生活習慣病予防に取り組むなど生涯にわたる健康づくりを支援する	・ <u>健康寿命と平均寿命の延伸を積極的に推進するという言葉があっても良いのではないか、</u> <u>両者の差が3年というのは凄いことなので、アピールできるものならぜひ残してほしい。</u>	施策 のタイトル「…生涯にわたる健康づくり」に含まれるため、特化しては記載しない。 具体的取組として、健康寿命と平均寿命の延伸については、本市の健康増進計画「 <u>健康ふくふくプラン21</u> 」の中に盛り込んでいく。
3	施策 子どもが健やかに生まれ育つ環境をつくる	・施策 に「 <u>子どもの貧困対策をさらに推進し</u> 」とあるが、 <u>福井市が取り組んでいる子どもの貧困対策を教えて欲しい。</u> ・ <u>福井市の貧困のバックデータを教えて欲しい。</u> 福井市では子供の貧困が顕在化しているのか。	貧困対策として、学習支援教室のほか、 <u>子ども医療費の助成や就学援助、教育・保育の無償化など、経済的負担を軽減する取組などを進めている。</u> 今後、 <u>学習支援教室の拡充や子ども食堂への支援等も含めて、総合計画実施計画の中で、有効な施策を検討していきたい。</u> 貧困のデータについては、 <u>別紙のとおり。</u>
4	施策 子どもが健やかに生まれ育つ環境をつくる	・施策 -2に「 <u>子育て世帯の経済的な負担を軽減</u> 」とあるが、 <u>住宅ローンを抱える子育て世帯への支援も足しておくべきではないか。</u>	子育て世帯の経済的な負担軽減については、 <u>しっかりと取り組んでいかななくては</u> いけないと考えており、取組の内容は、 <u>総合計画実施計画の中で検討していく。</u>

その他(反映が困難であったもの)

NO	該当箇所	意見の内容	対応
1	施策 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていることができる環境をつくる	・施策 「 <u>高齢者が住み慣れた地域で、…環境をつくる</u> 」とあるが、 <u>すまいるオアシスプラン</u> での基本理念として、「 <u>社会をつくる</u> 」になっている。「 <u>社会をつくる</u> 」の <u>ほうが良いのではない</u> か。	「 <u>すまいるオアシスプラン2021</u> 」では、「 <u>高齢者が安心して暮らし続ける社会づくり</u> 」を地域包括ケアシステムの基本理念としている。 その社会をつくるため、 <u>地域包括ケアシステムを構築し、施策として「安心して暮らし続けることができる環境づくり</u> 」を目指していることから、 <u>施策としては、「～環境をつくる」としたい。</u>



市民の健康を守り、誰もが夢や生きがいを持って安心して暮らせるまちをつくる

誰もが生涯にわたり、心身ともに健康で生きがいを持ち、自立した生活を送れるように市民の健康を守ります。子どもの健やかな成長を応援するとともに、子育て世代、高齢者、障がい者等を地域で支えあい、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。

現状

課題

施策

本市の人口は1995年(平成7年)をピークに減少し続けており、2019年(令和元年)の出生数は2,000人と過去最少となる一方で、高齢者数は増加傾向が続き、2042年にピークを迎えることが予想されています。

このように人口減少・少子高齢化が進行する中、安心して出産・子育てができる環境の整備や、高齢者、障がい者等、誰もが安心して住み慣れた地域で生涯健康に暮らすことができる社会の構築が求められています。

また、新たな感染症の発生等、保健衛生を取り巻く状況も変化しています。市民の健康や安全を守るため、一層の取組が求められています。

生涯にわたる健康づくりへの支援や安心して医療を受けられる医療保険制度の維持

妊娠・出産・子育て期までの切れ目のない支援の充実

高齢者が健やかにいきいきと活躍できる体制の構築、安心して暮らせるサービスの継続的な提供

生活習慣病予防に取り組むなど生涯にわたる健康づくりを支援する

- 疾病の早期発見・早期治療に取り組むとともに、正しい食習慣や適度な運動など、健康づくりや生活習慣病予防を推進します。
- 市民の健康を支えるための保健事業を推進し、医療費の適正化を図りながら、医療保険制度を安定的に運営します。

子どもが健やかに生まれ育つ環境をつくる

1. 結婚を考える若者を中心とした世代に対して、出会いから交際、結婚に至るまでの一貫した支援を推進します。
2. 安心して出産や子育てができるよう、子育て世代の経済的な負担を軽減します。
3. 地域の実情に応じた教育・保育環境の充実を図り、子どもの健やかな成長を支援します。

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる環境をつくる

- 医療や介護、介護予防、住まい、生活支援に加えて、認知症施策等、様々な支援を切れ目なく提供する地域包括ケアを推進します。
- 4. 高齢者が仕事や趣味、地域活動等の様々な社会参加を通して、元気に、いきいきと活躍できる体制づくりを進めます。
- 安定した福祉サービスの提供に向け、介護人材の確保及び施設における災害や感染症対策に取り組めます。
- 高齢者等がより安心して生活できる社会の実現のため、成年後見制度利用促進に向けた体制整備に取り組めます。

「マルトリートメント」とは、「大人の子どもへの不適切なかかわり」を意味する言葉であり、児童虐待の意味を広く捉えた概念。



課題

施策

障がい者等に対する市民への理解の浸透や、一人ひとりのニーズに応じたきめ細やかな支援

障がいや難病等を抱える人が地域で安心して生活できるよう支援する

- 5. 適切な障がい福祉サービス等が提供できるよう、支援体制を充実、強化するとともに、障がいや難病を抱える人の状況やニーズに応じ、**自立に向けた就労**や社会参加を支援します。
- 6. 障がいのある人もない人も、互いに地域生活を支え合うことができる共生社会の実現を目指し、障がいに対する更なる理解促進や**バリアフリーの推進**、災害時の支援体制づくりに取り組みます。

複雑化・複合化する問題に対応するための地域や各種機関の連携による支援体制の構築

7. 複雑化・複合化する支援ニーズを包括的に受け止める体制をつくる

- 相談先がわからない相談や分野をまたぐ複合的な相談等を包括的に受け止め、多機関が協働して必要な支援を行います。
- 多様な社会参加に向けた支援を行うとともに、地域における活動の担い手の育成や活動団体のネットワーク強化を促進します。

感染症への対応や食品の安全性の確保、救急医療の提供

8. 公衆衛生の向上や健康管理の強化に取り組む

- 8. 結核やエイズ、**新型コロナウイルス感染症**等、様々な感染症の発生やまん延の防止に向けた取組を推進します。
- 飲食店等に対する監視指導等を実施し、食品の安全性の確保を図るとともに、食中毒発生時の迅速かつ適正な対応に努めます。
- 休日の初期救急医療を提供するため、診療体制の充実を図ります。

答申案に反映

NO	該当箇所	意見の内容	対応
1	施策 環境対策に積極的に取り組む企業を支援育成し、公害や不法投棄のない快適な生活環境を守る	・ <u>ゼロカーボンシティは、どこか文言として出した方がよい。もう何年かするとみんな使い出すので、早めに載せておいたほうがよい。</u> 地球温暖化対策に関して言葉尻が弱いと思う。	現状の部分に、「本市は地球温暖化対策に貢献する『2050年ゼロカーボンシティ』を令和3年3月に宣言しました。」を追加。 現状の部分について、「エネルギーをより効率的に回収することで、温室効果ガスを削減できる新たなごみ処理施設の整備…」などの文言を追加し、地球温暖化対策にも配慮した施設整備を行うことを明確化した。
2	施策 環境負荷低減の取組を推進する	・第七次総合計画 - 1では公共交通機関や自転車等を利用してとあるが、第八次総合計画では、「公共交通機関」が抜けている。 ・ゼロカーボンを目指す上では残すべきではないか。	施策 - 2について、「再生可能エネルギー設備や省エネルギー機器の普及に加え、公共交通機関や自転車の利用など環境負荷の少ない生活(COOL CHOICE FUKUI)を推進します。」に変更。
3	施策 環境負荷低減の取組を推進する	<u>COOL CHOICE FUKUIを推進するとあるが、もっと具体的に書くべきではないか。</u>	「COOL CHOICE FUKUI」の事業概要を注釈に追加する。 COOL CHOICEとは、「クールビズで冷房なしに快適に過ごす」「利用できる場合は積極的に階段を使う」など、身近なところから始められる地球温暖化対策に繋がる「かしい選択(COOL CHOICE)を推進する国民運動のこと。
4	施策 環境対策に積極的に取り組む企業を支援育成し、公害や不法投棄のない快適な生活環境を守る	・ <u>不法投棄についてパトロールの実施などを行うこととされているが、文言をもう少し強調して欲しい。</u>	・施策 - 2について、「不法投棄等防止パトロールの実施など」という文言を削除し、「廃棄物の排出者及び処分事業者への啓発・指導を行うことにより、一般廃棄物・産業廃棄物の適正処理を推進し、不法投棄のない快適な生活環境を保全します。」に変更。 ・実施計画の策定の際に、不法投棄等防止パトロールやその他の対策も含め、盛り込んでいきたい。

具体的な取組として検討

NO	該当箇所	意見の内容	対応
1	施策 環境負荷低減の取組を推進する	・ <u>市民にごみの減量を説明する際、1日20グラムとかそういう具体的な数字を挙げておいてもらえると、分かりやすくなる。</u>	身近で分かりやすい情報を盛り込むなど、市民がイメージしやすい啓発活動を進めていこう、実施計画を策定する際に盛り込んでいきたい。
2	施策 環境負荷低減の取組を推進する	・ <u>市内のごみの分別方法が統一されることに伴い、意識付けを強化してもらいたい。</u>	分別ルール変更に伴う周知・広報に合わせて、あらためてごみの発生抑制や分別の徹底について、市民にお願いしていく。



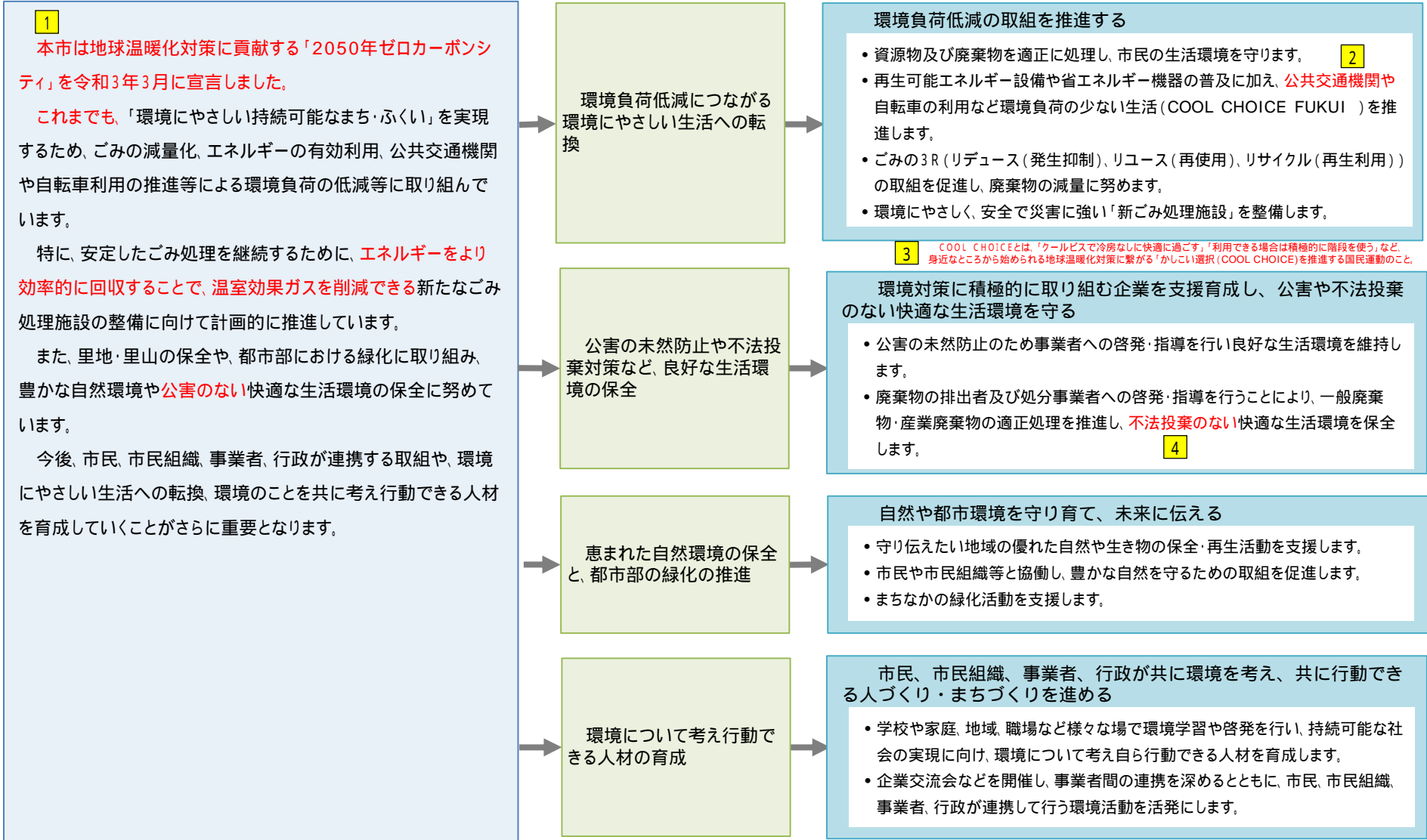
環境にやさしい持続可能なまちをつくる

市民、市民組織、事業者、行政が連携し、良好な生活環境を保全するとともに、恵まれた自然環境や、みどりが豊かで快適な都市環境を守り育てます。
環境負荷の低減や循環型社会の形成を図り、将来にわたって持続可能なまちづくりを進めます。

現状

課題

施策



政策8 防災、安全安心に関する政策

答申案に反映

NO	該当箇所	意見の内容	対応
1	施策 交通安全対策を推進する	<p>・交通安全対策について、標識一つも警察に言わないと付けてもらえない。市も警察に行って協議をしているが、その辺の連携がなかなかうまくいかない。警察が動いてくれるのが一番効果があると思うと、「関係機関と連携して」という所を、ストレートに「警察と連携して」と書いた方が良いのではないかと思う。</p> <p>・交通安全に対する学校での教育が必ずしも十分ではない。学校でも、子ども、保護者へのかかわりをしていただきたい。</p>	<p>施策 -1について「交通安全推進団体や、警察、学校などの関係機関と連携して、交通安全の普及に取り組み、交通マナーの向上や交通安全意識を高めます。」に変更。</p>

具体的な取組として検討

NO	該当箇所	意見の内容	対応
1	施策 地域の防災力を高める	<p>・施策 -2「要配慮者に対する地域での支援体制づくりを進めます」の部分について、法改正により、災害時の避難行動、要支援者に対する個別支援計画の作成が市町に義務付けられたと聞いている。</p> <p>・今後福井市でも個別支援計画の作成を進めていくと思われるが、そのことをこの施策に書きこむというはどうか。</p>	<p>個別支援計画の策定については、令和3年の災害対策基本法の改正に基づき具体的に取り組んでいけるよう、実施計画を策定する際に、盛り込んでいきたい。</p>
2	施策 地域の防災力を高める	<p>・地域防災について、消防団以外の一般市民の方にも協力を仰ぐ方法を考えていかなければ、難しくなっていくのではないか。</p>	<p>消防団以外の地域防災に対する取組については、施策 -2「自主防災組織の育成…」の部分において、自主防災組織を対象とした研修会などを実施することにより、しっかりと進めていく。</p>
3	施策 火災等から人命と財産を守る	<p>・施策 -2「救急の活動能力の向上を図り」とあるが、(現場では)もう少し隊員の技術力や判断力が磨かれるとよいのではと思った。</p>	<p>今後も、指導救命士及び救急隊員による事後検証、研修会及びシュミレーション訓練を実施していく。</p> <p>また、病院での症例検討会にも参加し、救急の活動能力の向上を図っていく。</p>

政策 8 防災、安全安心に関する政策



市民・事業者・他自治体等と連携して
災害・事故に強い安全・安心なまちをつくる

災害や事故から市民の生命・身体・財産を守るため、市民の防災意識や地域の防災力を高めるとともに、事業者、団体や他自治体と連携するなど、災害・事故への対応力を強化します。
防火、防犯、交通安全に対する意識の高揚や啓発を図り、地域住民や関係機関との連携強化により、くらしに身近な生活安全を守ります。

現状

課題

施策

近年、豪雨や地震等の自然災害が各地で甚大な被害をもたらしており、災害へのさらなる対応力の強化が求められています。
本市においては、災害から市民の生命、身体、財産を守るため、地域の防災力の向上や、感染症対策を踏まえた避難所対応体制の強化などに取り組んでいます。

国は2018年(平成30年)7月豪雨を教訓に、住民が自分の命を守るために最善の避難行動ができるよう、避難勧告等に関するガイドラインを改定しましたが、今後は、市民への防災意識の啓発など各種防災対策の強化がさらに重要となってきます。

また、火災等から市民を守るためには、消防体制の整備と防火意識の啓発とともに、超高齢社会に対応するための救急体制の強化が重要です。

生活に身近な安全安心については、近年、高齢者が関わる消費者トラブルや交通事故が多いことから、今後も関係機関が連携して効果的な啓発活動を行い、地域ぐるみで犯罪に対する抑止力を高める仕組みづくりや交通安全への対策が求められています。

地域の防災力向上、避難体制の整備及び企業等との連携強化

消防体制及び救急体制の強化、防火安全対策の推進

地域における街頭犯罪等の抑止

消費者保護の充実、かきこい消費者の育成

交通安全対策の推進

地域の防災力を高める

- 国、県、警察、自衛隊等の関係機関や民間事業者との連携及び避難所対策に取り組み、危機管理体制の強化を図ります。
- 自主防災組織の育成や要配慮者に対する地域での支援体制づくりを進めます。
- 防災担当職員の人材育成や近隣市町との連携強化等を図り、災害対応力を向上します。
- 火災などの災害や事故に対応できる知識の普及啓発や人材育成を行い、市民一人ひとりの防災意識の高揚を図ります。

火災等から人命と財産を守る

- 消防施設の整備と維持管理に取り組み、火災等への対応力をさらに強化します。
- 救急活動能力の向上を図り、救急体制を強化します。
- 住宅の防火安全対策を推進し、防火意識の高揚を図ります。

地域における防犯力を向上する

- 防犯隊への活動支援を行うことで、各種犯罪の未然防止および市民への防犯意識の高揚を図り、安全で安心な地域をつくります。

安全安心な消費生活を支える

- 高度情報化社会の進展や高齢化社会に対応できるよう、消費生活相談体制の充実を図ります。
- 幅広い年齢層への学習の場の提供や、消費者トラブルの未然防止に役立つ情報発信を行い、かきこい消費者の育成を図ります。

交通安全対策を推進する

- 交通安全推進団体や、警察、学校などの関係機関と連携して、交通安全の普及に取り組み、交通マナーの向上や交通安全意識を高めます。
- 高齢者が交通事故の加害者にも被害者にもならないよう、運転免許の自主返納や反射材の着用など交通安全啓発を進めます。

答申案に反映

NO	該当箇所	意見の内容	対応
1	施策 スマート農業等新たな時代に対応した農業を推進する		具体的な内容となるように、以下のとおり修正。 施策 -1について「生産推奨品目を中心とした水田園芸や果樹栽培の普及・拡大を推進し、稲作と園芸の複合経営推進を図ります。」に変更。 施策 -4について「就農先の紹介や農地の斡旋、給付金の交付などの支援を図ることにより、就農意欲のある若者などの参入と定着を進めます。」に変更。
2	施策 スマート農業等新たな時代に対応した農業を推進する	・(コロナ禍により)いのちを守る産業分野への転換が進んでいる。食は生きるためのルーツ、いのちを守るというキーワードで農業を考え、クオリティの高い農業の振興を入れ込めないか。	施策 -2を、-2、-3に分割し、以下の通り修正。 施策 -2「スマート農業の導入などにより、農作業の省力化や栽培技術の向上を図り、高品質で安全・安心な農産物の安定生産を進めます。」 施策 -3「ほ場の大区画化などの基盤整備や農地の集積・集約化の促進により農作業の効率化を図ります。」に変更。
3	施策 ブランド化や販路開拓等新たな可能性にチャレンジする	・施策 -2に「ECサイトなどを活用したマーケティング」とあるが、地域での認知度を高めてから全国に展開した方がよいのではないかと。	施策 -1について、以下の通り修正。 「直売所や地域内での販売イベントやPR等により、市内農林水産物の認知度向上を図り、地産地消を推進します。」 施策 -2について、以下の通り修正。 「大都市圏やアジア諸国での販売イベントやECサイトなどを活用した効果的な情報発信を行い、販路拡大・開拓を進めます。」
4	施策 ブランド化や販路開拓等新たな可能性にチャレンジする	・ブランドの育成の仕方や地元が愛する商品づくりはキーワードになるので、そういった言葉を入れていただくと良いのではないかと。 ・施策 -3に「金福すいか」や「きゅうりふく」とあるが、言葉として入っているものと入っていないものがあると、生産者からすると、非常にナーバスな話になる。 ・変な誤解を生まないように「一押し逸品」という言葉でくくった方がよい。	施策 -3について「本市独自の作物である金福すいかなど、ふくい「一押し逸品」の「差別化」や「高付加価値化」を図りブランド力を高めるとともに、オリーブなどの新たな産地化やブランド化を推進します。」に変更。 本市が選定した福井市産の特色ある農林水産物29品目 施策 -4として「市内農産物への愛着を深めるため、食育・農業体験事業を推進します。」を新たに追加。

具体的な取組として検討

NO	該当箇所	意見の内容	対応
1	施策 スマート農業等新たな時代に対応した農業を推進する	・スマート農業について、多くの予算の確保をしてほしい。	農業者(個人・法人)からの要望を伺いながら、予算化に努めていく。
2	施策 スマート農業等新たな時代に対応した農業を推進する	・農家が農機具の購入や作業の委託を共同で行うには、一定の補助が必要ではないかと。	国・県・市の補助メニューを活用し、農機具の購入等への支援を図っていく。
3	施策 スマート農業等新たな時代に対応した農業を推進する	・スマート農業を推進するには法人化、大規模化の農家をしっかり支えないといけない。農業法人への支援を充実し、儲けが出るように。	県やJAなどの関係機関と連携し、農業法人への支援を図っていく。
4	施策 ブランド化や販路開拓等新たな可能性にチャレンジする	・ブランド化を推進していくには、まず製品の品質向上や市場への供給量確保が必要。セットで考えるべき。	県やJAなどの関係機関と連携し、品質向上に関する技術的指導や品質基準の設定、供給量確保のための産地形成支援などを組み合わせて実施していくことで、生産から販売に至るまでトータルで支援をしていく。
5	施策 スマート農業等新たな時代に対応した農業を推進する	・施策 -4に「定着」という言葉があるが、離農者を減らすための取組として、新規就農者が熟農者のノウハウを習得することが重要だと思う。そのため、若者と熟農者の連携を言葉として加えてほしいと思う。	現在、新規就農者が始める前に一時的に熟農者のもとでノウハウを学ぶ里親制度がある。今後も、このような制度を活用しながら、就農意欲のある若者などの定着を進めていく。
6	施策 ブランド化や販路開拓等新たな可能性にチャレンジする	・ECサイトは今後絶対に必要な販売方法ではあるが、販売する側としては、農産物が外国に合っているのか、その国では食べられるのかとかといった各諸国の事情が分かりにくい。福井の農産物を積極的に食べてもらいたいのなら、マッチングをするようなセミナーなどがあるとよい。	実施計画を策定する中で、具体的な事業として検討していく。

政策9 農林水産業に関する政策



未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる

農林水産物のブランド力向上、新たなマーケティングや販路の開拓を進め、農林水産業の振興を図ります。農山漁村の環境を守り、持続的な農林水産業の発展につなげます。

現状

安全・安心な食の提供や、自然環境の保全、水資源の涵養など、農林水産業の果たす役割は大変重要です。しかし、米価等の低迷や漁獲量の減少、従事者の高齢化による担い手不足など、農林水産業を取り巻く環境は依然として厳しい状況となっています。

特に耕作条件が不利な中山間地域においては、耕作放棄地の増加が懸念され、有害鳥獣による農作物への被害も深刻な状況です。

本市では、これらの状況をふまえ、就業者の育成、経営の安定化や所得の向上、農山漁村の環境保全などの取組を進めています。

また、北陸新幹線福井開業という好機を逸することなく、本市の農林水産物や福井の食をPRし、ブランド力の向上や販路拡大を進める必要があります。

課題

園芸の推進による複合経営への転換と農作業の省力化

福井の農林水産物や食のブランド力向上、情報発信、販路拡大・開拓

森林の適正な管理と木材利用推進、収益性の高い水産物の推進

農地・農村の環境保全、中山間地域の営農継続、鳥獣被害の軽減

施策

スマート農業等新たな時代に対応した農業を推進する

- 1. 生産推奨品目を中心とした水田園芸や果樹栽培の普及・拡大を推進し、稲作と園芸の複合経営推進を図ります。
- 2. スマート農業の導入などにより、農作業の省力化や栽培技術の向上を図り、高品質で安全・安心な農産物の安定生産を進めます。
- 1. ほ場の大区画化などの基盤整備や農地の集積・集約化の促進により農作業の効率化を図ります。
- 1. 就農先の紹介や農地の斡旋、給付金の交付などの支援を図ることにより、就農意欲のある若者などの参入と定着を進めます。

ブランド化や販路開拓等新たな可能性にチャレンジする

- 3. 直売所や地域内での販売イベントやPR等により、市内農林水産物の認知度向上を図り、地産地消を推進します。
- 4. 大都市圏やアジア諸国での販売イベントやECサイトなどを活用した効果的な情報発信を行い、販路拡大・開拓を進めます。
- 4. 本市独自の作物である金福すいかなど、ふくい「一押し」の逸品の「差別化」や「高付加価値化」を図りブランド力を高めるとともに、オリーブなどの新たな産地化やブランド化を推進します。
- 4. 市内農林水産物への愛着を深めるため、食育・農業体験事業を推進します。

本市が選定した福井市産の特色ある農林水産物29品目

稼げる林業と水産物を推進する

- 森林環境譲与税を活用し、管理されていない森林の整備や木材利用による普及啓発を強力に推し進めます。
- ICT等の活用による生産性の向上や情報共有による林業・木材産業事業者の連携強化を進め、稼げる林業の構築を進めます。
- 水産資源を維持するため、つくり育てる漁業への取組を支援するとともに、ICT等を活用した「スマート水産物」を推進します。
- 就業希望者へのサポート、就業環境の改善等により、次の世代を担う多様な形態の人材育成確保に取り組みます。

農地・農村の環境を守り活性化を図る

- 多面的機能支払活動組織の広域化を支援します。
- 中山間地域において、集落活性化への支援などを進め、自然や食などの地域資源を活用したコミュニティビジネス等の魅力あるビジネスの構築を図ります。
- 越前水仙の産地活性化や品質向上対策を進め、ブランドの維持・出荷量の増加を図ります。
- 有害鳥獣の捕獲にICTを活用するなど獣害対策の効率化を図り、農業・生活被害の低減を図ります。

答申案に反映

NO	該当箇所	意見の内容	対応
1	施策 地域の商工業を振興する	<ul style="list-style-type: none"> ・福井はものづくりが盛んだがそれを県外の人に見せたり触れてもらう場がない。 ・今後の販路開拓にしても新たな商品開発にしても、<u>オープンイノベーションで外の知見を集めて福井と融合して何かを生み出していくという発想でいくのならば、福井のものづくり技術や産業を外にアピールできる手段、方法、場所が必要ではないか。</u> ・昨年実施した調査結果では、上期と下期の比較すると、下期の方が関連多角化事業をしたというアグレッシブな企業が増えていた。 ・<u>コロナ禍で開発型企業が福井県全体で増えてきたような気がする。そこをさらに伸ばしていくことも意識してはどうか。</u> 	福井のものづくり技術や産業を外にアピールしていくために、施策 -1について、「ものづくり産業の高い技術力をベースに、オープンイノベーションやデジタル技術を活かした新技術・新商品の開発、販路開拓を支援し、企業の『稼ぐ力』の向上を促進します。」に修正。
2	施策 地域の商工業を振興する	<ul style="list-style-type: none"> ・企業のDX化推進をどこかに入れる必要があると思う。 ・<u>最終消費財につながるような新商品の開発に力を入れることが重要。その辺を書き加える</u>とよいのではないか。 	施策 -1に「・DX推進を原動力に、商品・サービスの見える化による競争力の向上や、経営の改革による企業価値の向上を進め、地元の誇りとなる魅力ある企業づくりを促進します。」を追加。
3	施策 地域の商工業を振興する	<ul style="list-style-type: none"> ・「ICTなどの成長産業の誘致」とあるが、「ICTなどの」は不要。 	施策 -3について、「ICTなどの」を削除し、「地域経済の発展や雇用機会の拡大を図るため、成長産業の誘致や、市内企業の事業拡大に対応した企業立地を推進します。」に変更。
4	施策 創業の促進と事業承継の円滑化を支援する	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所では、中小企業の事業をそのまま引き継ぎ雇用を守るだけの事業承継ではなく、モデルチェンジや世代交代をして、経営者の新しい感覚で息を吹き返すという企業事例をたくさん作ろうとしている。 ・<u>守りというよりは、次世代に引き継いで、モデルチェンジした新しい事業、環境変化に耐える事業承継をやっていこうというスタンスを入れたらどうか。</u> 	施策 -2について、「中小企業が待つ貴重な技術・ノウハウを次世代に引き継ぐ担い手の確保や、時代のニーズに対応できるよう事業転換を支援することにより、事業承継を促進します。」に変更。
5	施策 地元で働く魅力を発信する		施策 -1を、より分かりやすく、具体的な表現に修正。
6	施策 地域の商工業を振興する 施策 地元で働く魅力を発信する	<ul style="list-style-type: none"> ・「福井の優れた技術を若者へ発信」といった取組が施策 -2と施策 -2に重複しているので、一つにまとめられないか。 	施策 -2の部分に集約し、「未来を担う若者に対し、福井の優れた企業のものづくり技術や先進的な取組などを伝えることで、市内企業で働く意識を高め、地元就職や将来のUターン就職につなげます。」に変更。
7	施策 多様な人々が活躍できる雇用環境を推進する		施策 -1を、より正確な表現に修正。
8	施策 多様な人々が活躍できる雇用環境を推進する	<ul style="list-style-type: none"> ・「安定した労働力を確保するために副業」という言葉のつながりについて、<u>副業を否定するものではないが、経営者の立場から見てどうかと思う。変える必要があるのではないか。</u> ・「安定した労働力を確保するため、副業やテレワークなどの」の部分は直してほしい。副業はまだ早い。 	施策 -2について、「副業」などの文言を削除し、「障がい者や高齢者などの多様な人材の能力を活用しながら、安定した労働力を確保するための取組を支援します。」に変更。

具体的な取組として検討

NO	該当箇所	意見の内容	対応
1	施策 創業の促進と事業承継の円滑化を支援する	・Uターンした若者に企業の中で体験をして新しい提案をしてもらい、良い提案があればUターン後にそれを実行する際に奨励する活動があればうまく連携できるかと思う。 ・若者の力を借りることも大事ではないか、知らない人に知ってもらうことも大事。 ・Uターン、Iターンについて、圧倒的に中小企業が多い中、自社PRが上手く出来ていない、企業が上手く情報発信できていない中で、学生や都会に出た方も情報収集ができず、マッチングがうまくいかない、いかに両者を繋いでいくかが課題ではないか。	福井市が管理運営している企業情報・求人情報などの検索サイト「ふくいおしごとネット」で、社員のやりがいの声や企業の取組を掲載するなど、 <u>サイトの内容充実</u> を図っていきたい。
2	施策 創業の促進と事業承継の円滑化を支援する	・雇用環境の面で、コロナ禍でテレワークがクローズアップされているが、市内にある空き家を簡単に改装し、インターネット環境を整えれば、その環境を使いたいというニーズもあるのではないかと。	空き家を利用したテレワークについては、空き家対策にもなることから、 <u>今回の意見を関係所属と情報共有しながら、検討</u> していききたい。
3	施策 地元で働く魅力を発信する	・Uターン就職に関し、直接、見て触れてとあるが、コロナ禍で触れるのは難しいのではないかと、実感できる仕組み、しかけをつくる必要がある。	<u>オンラインのみでの取組には限界がある</u> ことから、 <u>オフラインと合わせた取組を検討</u> していききたい。
4	施策 多様な人々が活躍できる雇用環境を推進する	・若い人がスキルアップのために気楽に参加できる職業講座があるとよい。また、 <u>そのための支援</u> があると良い。	民間が行うものも含め、関係機関から <u>情報収集</u> を行い、 <u>スキルアップに繋がる講座の情報発信</u> を行っていききたい。
5	施策 地元で働く魅力を発信する	・インターンシップなどでは情報保護の観点で肝心なことが見れないことがある。若者の就職には親御さんの意見も重要とされる。親の意識を変えていくことも大切。 ・福井の商工業をクローズからオープンにして見せる化によって知ってもらい、それが企業にもプラスになり、働き手の確保にもつながることも加えてもらえるとうい。	<u>企業情報の提供</u> については、市の判断で提供できるものではないが、できる限り情報提供をしていただき、 <u>企業の魅力を伝えていただく</u> ことが、企業への就労にも繋がるなどの <u>メリットがある</u> ことを企業に呼びかけていききたい。
6	施策 地元で働く魅力を発信する	・コロナ禍で、本社の統括機能の部分はリモートでできることがわかり、働き方について考えるきっかけになったという話を聞く。今後そういう考え方が浸透してくると、東京、大阪で働くことが全てではないというようになってくる。	今後もワーケーションを進める関係所属と今回の意見を情報共有しながら、 <u>検討</u> していききたい。
7	施策 多様な人々が活躍できる雇用環境を推進する	・ <u>ニューノーマルの時代にふさわしい雇用環境の整備</u> もキーワードになるのではないかと。	働き方改革を促す <u>セミナー</u> などにおいて、時代に沿った雇用環境の整備を促していききたい。

その他

NO	該当箇所	意見の内容	回答
1	施策 多様な人々が活躍できる雇用環境を推進する	今現在、外国人の介護士の方は、福井市に何人いるのか、	県の資料によると、本県の外国人介護従事者数は、約100名。 「第8期福井県高齢者福祉計画(令和3年3月)」より



政策10 商工業に関する政策

新たなチャレンジを後押しし、
活力と魅力あふれる商工業が発展しつづけるまちをつくる

ものづくり技術の高度化や魅力ある産業の育成、創業支援の推進により地域経済を活性化します。若者のUターン就職や地元就職を促進するとともに、誰もが意欲や能力をいかして活躍できる就業機会を確保します。

現状

本市には、繊維産業をはじめ高い技術を持つものづくり産業が集積しています。

これらのものづくり技術の高度化や担い手の確保に向けて、新製品の開発など新たなチャレンジへの支援や事業承継の促進に取り組むことが重要です。

また、地域経済を牽引する中核企業の育成や産業の発展につながる企業立地、若者の夢を応援する創業支援を推進する必要があります。

一方で、人口減少や若年層の首都圏への流出により、労働力不足が懸念されます。このため、若年層の地元企業への就職を促進するとともに、多様な人材の能力等を活用しながら、安定した労働力を確保する必要があります。

課題

企業の稼ぐ力の向上に向けた事業活動への支援と雇用の創出

若者の夢の実現に向けた創業支援と、企業の技術やノウハウを次世代に引き継ぐための事業承継の円滑化の促進

Uターン就職の推進と、地元学生の地元就職への意識の醸成

一人ひとりの状況に応じた柔軟な労働環境や働きがいのある職場環境の整備

施策

地域の商工業を振興する

- 1 • ものづくり産業の高い技術力をベースに、オープンイノベーションやデジタル技術を活かした新技術・新商品の開発、販路開拓を支援し、企業の「稼ぐ力」の向上を促進します。
- 2 • DX 推進を原動力に、商品・サービスの見える化による競争力の向上や、経営の改革による企業価値の向上を進め、地元の誇りとなる魅力ある企業づくりを促進します。
- 3 • 地域経済の発展や雇用機会の拡大を図るため、成長産業の誘致や、市内企業の事業拡大に対応した企業立地を推進します。
 - 地元の新鮮な食材や伝統技術などの様々な地域資源を活用した魅力ある商品を創出するとともに、各種団体と連携し、地域に根差した商業・サービスの発展に努めます。

Digital Transformation (デジタルトランスフォーメーション)の略。デジタル技術の活用によって企業のビジネスモデルを変革し、新たなデジタル時代にも十分に勝ち残れるように自社の競争力を高めていくこと

創業の促進と事業承継の円滑化を支援する

- 若者等の夢を応援するため、熱意ある創業を支援するとともに、創業した後も早期に経営が安定するよう創業者をバックアップします。
- 4 • 中小企業が待つ貴重な技術・ノウハウを次世代に引き継ぐ担い手の確保や、時代のニーズに対応できるような事業転換を支援することにより、事業承継を促進します。

地元で働く魅力を発信する

- 5 • 県やハローワーク等の関係機関との連携を強化し、都市部と比べ通勤によるストレスが少ない、自然が豊か、子育て環境が充実しているなど、市内企業で働く魅力を伝え、Uターン就職のさらなる促進を図ります。
- 6 • 未来を担う若者に対し、福井の優れた企業のものづくり技術や先進的な取組などを伝えることで、市内企業で働く意識を高め、地元就職や将来のUターン就職につなげます。

多様な人々が活躍できる雇用環境を推進する

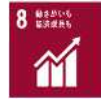
- 7 • 働き手の希望やライフステージに応じて、生き活きと働きつづけることができる職場環境整備への取組を支援します。
- 8 • 障がい者や高齢者などの多様な人材の能力を活用しながら、安定した労働力を確保するための取組を支援します。

答申案に反映			
NO	該当箇所	意見の内容	対応
1	施策 観光資源を磨き上げる	・歴史的なものを見せるのも良いが、デジタル技術を活用した新しいものが加わると良い。外国人に戦国城下町の魅力が伝わるよう、CGやVRなどのデジタル技術を活用して魅力を見える化してはどうか。	施策 - 1について、「戦国城下町の往時の姿を伝える『一乗谷朝倉氏遺跡』では、…既存のツールに加え、VR等を活用した遺跡案内や体験プログラムの充実、遺跡内の周遊環境の向上に取り組みます。」に変更。
2	施策 観光資源を磨き上げる	・観光入込客数で評価するのではなく、宿泊客を倍増させるような経済効果を最大化させる取組を掲げてみてはどうか。 ・昔からある観光資源を活用するのもよいが、そこに新しいものを一つでも加えたら、より一層観光をアピールできるのではないかと。例えば、セーレンプラネットなど、デジタル技術の魅力を伝えるために、その施設を活用するの、また新たな観光資源の発掘だと思ふ。	施策 - 2について、「交通結節点でもある『まちなか』では、広域観光の滞在拠点として宿泊機能を充実するとともに、夜間景観の創出による魅力の向上並びに…歴史遺産などを活かした回遊性の向上に取り組みます。」に変更。 上記の変更内容と整合させるため、課題 について「自然や歴史文化、産業など地域資源を活かした体験・交流型観光や宿泊・滞在型観光につながる広域観光の推進」に変更。
3	施策 観光資源を磨き上げる 施策 誘客プロモーションを強化する	・観光客は観光地を回遊することが多いので、市内の魅力的な観光地と合わせてルートの提案ができれば良い。テーマに沿った周遊ルートを観光客に提案できるということが大事。 ・広域連携による観光ということの切り口に、観光ルートの提案を入れ込んで欲しい。 ・「見る」観光から「体験する」観光へのシフトが求められている。「産業観光」というフレーズを入れるなどの「体験」を取り上げてはどうか。 ・東京では、はとバスなどを使った周遊観光の企画がある。新幹線で福井に来られた観光客に対して、そのような周遊観光の企画があると、観光業として引き立つのではないかと。	施策 - 3について、「…『越前海岸』では、それらの観光資源を活かした五感に響く体験・交流型観光を推進します。」に変更。 施策 - 4について、「…多様な観光資源をつなげた魅力ある広域観光ルートを提供するとともに、地域の生業やものづくり等を体験できる産業観光を推進します。」に変更。 施策 - 1について、「…福井の名所や魅力を発信するなど、官民一体となったプロモーションを展開することで、本市の認知度向上、イメージアップにつなげます。」に変更。
4	施策 誘客プロモーションを強化する	・施策 - 3では「若い世代や外国人」とあるが、国内の高齢者も大きなターゲットになってくる。高齢の観光客の中には、アナログ的な観光情報誌を見ながら歩くという方もいる。SNSやインターネットを使える人も多いが、アナログの情報ツールも充実した方がよい。 ・高齢の観光客への視点が抜けていたので、入れていかなければいけない。	施策 - 3について、「…SNSなどの多様な手段を用い、観光客のニーズや特性に応じた効果的な情報発信を行います。」に変更。
5	おもてなしの充実を図る	・「観光おもてなし市民運動」をもっと強い表現に変更し、観光に対する市民意識の醸成に強く取り組んでいくことが必要。	施策 - 1について、「市民が福井の良さ「福いいネ！」を実感するとともに、…「観光おもてなし市民運動」をさらに充実・強化します。」に修正。
6	おもてなしの充実を図る	・施策 - 2の「インバウンドに対応できる通訳ボランティアの育成」の部分に違和感がある。福井の魅力伝えることのできる外国語を話せる観光ガイドを養成をしていく必要がある。 ・福井県、福井市は、深い歴史がある割には、見た目にはそれが伝わってこない。そこら辺は、観光ガイドなり、語り部の養成、育成、支援というのが大事だと思ふ。	施策 - 2の文章から、「インバウンドに対応できる通訳ボランティアの育成」を削除し、「国内外の観光客に、福井の魅力をしっかりと伝えることができる観光ガイドを育成します。」に変更。
7	おもてなしの充実を図る	・デジタル社会を意識して、ICTなどのキーワードを一つ入れるとともに、具体的な取組としては、実施計画の中で、観光につながるデジタルツールの活用などを入れてもらえればよい。 ・観光アプリの開発などのデジタルプラットフォームの確立が必要。 ・八次総合計画では、北陸新幹線を利用する観光客にターゲットを絞った観光ルートの提案を入れ込んでもらえればよい。	施策 - 3について、「…観光アプリなどICTの活用による観光情報や二次交通など観光地へのアクセスの充実を図ります。さらに、…感染症予防策の徹底やデジタル技術の活用など、安心して快適に旅行を楽しめる取組を進めます。」に変更。

具体的な取組として検討

NO	該当箇所	意見の内容	対応
1	観光資源を磨き上げる	<ul style="list-style-type: none"> ・福井市では夜間の賑わいや回遊性はほとんど見られない。回遊したくてもできない状況であるため、具体的な事業の中で何か検討してほしい。 ・コロナの影響を鑑みると、夜間の賑わいというのはいかなものか。 ・リスク要因を入れ込みすぎると観光産業が成り立たなくなってしまう。もし必要であれば夜間の賑わいについては具体的な事業の中で検討することとしたい。 	<p>実施計画を策定する際に、盛り込んでいきたい。</p>
2	誘客プロモーションを強化する	<ul style="list-style-type: none"> ・施策 -2では「…嶺北連携都市圏の自治体と連携して一体的かつ集中的に展開する」とあり、回遊性に重きを置いた発想で書かれている文章だと思うが、MaaSの発想が薄く、このままでよいのかと思う。実施計画を策定する際には、例えば、朝倉氏遺跡、恐竜博物館、永平寺などをスムーズに回遊できるような取組など、チャレンジングな取組を入れてもらいたい。 	<p>実施計画を策定する際に、盛り込んでいきたい。</p>

政策11 観光に関する政策



福井の魅力「福いいネ！」を実感できる、おもてなしの心があふれる観光のまちをつくる

観光資源をさらに磨き上げ、市民が福井に誇りと愛着を持っておもてなしする観光のまちづくりを推進します。ふくい嶺北連携中枢都市圏の構成自治体とも連携し、広域観光やインバウンド観光を推進するとともに、体験・交流プログラムなど観光メニューの充実に取り組みます。本市の認知度向上やイメージアップを図り、北陸新幹線開業効果を最大限に高めます。

現状

北陸新幹線福井開業や中部縦貫自動車道全線開通、大阪・関西万博の開催を控え、本市では観光誘客など交流人口の拡大を図る絶好の機会を迎えています。

一方で、福井の全国的な認知度は依然として低く、北陸新幹線の出発地である首都圏において認知度向上やイメージアップの強化を図り、新幹線開業効果を最大限に高める必要があります。

訪日外国人数は、2013年(平成25年)には1千万人、2018年(平成30年)には3千万人を超えています。本県の訪日外国人旅行者は全国最下位レベルであり、また誘客・受入環境ともに充分とは言えません。

連携中枢都市圏を構成する市町や県、民間等と連携し、新幹線開業後を見据えて、観光によるまちづくりを推進することで、交流人口・関係人口の拡大、地域経済のさらなる活性化に繋げていく必要があります。

課題

自然や歴史文化、産業など地域資源を活かした**体験・交流型観光**や**宿泊・滞在型観光**につながる**広域観光の推進** 2

高速交通網の整備に合わせたプロモーションの強化やターゲットに応じた効果的な**情報発信**

市民、事業所、団体等が一体となったオール福井による**おもてなしの実現**や**観光客が快適に旅行できる環境づくり**

施策

観光資源を磨き上げる

- 1 戦国城下町の往時の姿を伝える「一乗谷朝倉氏遺跡」では、令和4年開館の県立博物館とも連携し、**既存のツールに加え、VR等を活用した遺跡案内や体験プログラムの充実、遺跡内の周遊環境の向上**に取り組みます。
- 2 交通結節点でもある「まちなか」では、**広域観光の滞在拠点として宿泊機能を充実するとともに、夜間景観の創出による魅力の向上**並びに養浩館庭園や福井城址等の歴史遺産などを活かした回遊性の向上に取り組みます。
- 3 雄大な「自然」と豊かな「食」に恵まれた「越前海岸」では、それらの**観光資源を活かした五感に響く体験・交流型観光**を推進します。
- 4 日本遺産に認定された一乗谷朝倉氏遺跡、養浩館庭園、白山平泉寺など多様な観光資源をつなげた**魅力ある広域観光ルートを提供するとともに、地域の生業やものづくり等を体験できる産業観光**を推進します。

誘客プロモーションを強化する

- 本市のプロモーションの旗印である「福いいネ！」を活用し、**福井の名所や魅力を発信するなど、官民一体となったプロモーションを展開**することで、本市の認知度向上、イメージアップにつなげます。
- 北陸新幹線や中部縦貫自動車道の沿線地域に対する**情報発信**について、県や「ふくい嶺北連携中枢都市圏」の構成自治体とも連携し、**一体的かつ集中的に展開**することで、観光地として認知度向上につなげます。
- 若い世代や外国人の観光客に訴求力のあるSNSなどの**多様な手段を用い、観光客のニーズや特性**に応じた効果的な情報発信を行います。

おもてなしの充実を図る

- 5 市民が福井の良さ「福いいネ！」を実感するとともに、オール福井で観光客を温かく迎入れることができるよう「**観光おもてなし市民運動**」をさらに**充実・強化**します。
- 6 国内外の観光客に、福井の魅力をしっかり伝えることができる**観光ガイド**を育成します。
- 7 北陸新幹線福井駅における**観光案内機能**を強化するとともに、**観光アプリなどICTの活用による観光情報や二次交通など観光地へのアクセスの充実**を図ります。さらに、感染症という新しいリスクに対応するため、**感染症予防策の徹底やデジタル技術の活用**など、安心して快適に旅行を楽しめる取組を進めます。

答申案に反映			
NO	該当箇所	意見の内容	対応
1	施策 市民の心を豊かに育む文化芸術を振興する	<p>・福井は美術館や美術展が少ない。触れる機会はあるが、こちらから触れさせにいかないと、文化を体験させるのは難しい。家庭環境によるが、子どもの頃に文化に触れる機会がないと、大人になっても触れない人が多いと思われる。どのようにして触れるきっかけを作っていくのか、気にしている。</p> <p>・全般的に、支援します、図りますと書かれているが、七総まででやってきたことと同じレベルで行くのか、もっと力を入れていくのかがわかるように強弱、メリハリを付けていただきたい。八総では強化しますという書き方ができるものがあればしてもらいたい。</p>	<p>施策 - 1について、「<u>子どもの頃から、誰もが身近に多様な文化芸術に親しみ、創作活動等に参加できる環境を…</u>」に変更。</p> <p>施策 - 1について、「…創作活動等に参加できる環境を<u>拡充</u>します。」として<u>強い表現に変更</u>。</p>
2	施策 市民の心を豊かに育む文化芸術を振興する	<p>・ハコモノ、いい施設を作るというよりは、<u>プレーヤーを育てる方に力を注いでほしい</u>、ハコモノがあっても芸術家や表現する人がいなければ魅力的なものにならない。</p> <p>・<u>文化芸術活動をしている人に、市はこういうことを支援していますとか、こういうことをやってほしいということを伝えてほしい。</u></p> <p>・<u>環境としてのハコモノに加え、プレーヤーが育っていくことが重要。</u></p>	<p>施策 - 2について、「<u>文化芸術の担い手を育成し、未来に継承するため、市民や各種団体の活動を支援します。</u>」に変更。</p>
3	施策 歴史や文化遺産を保存・継承し活用する	<p>・朝倉氏遺跡や養浩館などは一級品の価値がある文化遺産だと思うが、残念ながら地元の人ほどその価値を知らない。地元の人間がその価値を知る、足を運び、体感するという活動が必要。</p> <p>・福井市は文化のまちの面で押し出し方が弱った。福井がそこに全体的に力を入れることができれば、世界的にモデルになるような文化都市、教育都市を作れるのではないかと。</p> <p>・施策 - 3に「市民自らが発信」とあるが、<u>誰が何をアピールしてくれるのか、焦点を絞った施策を打ってほしい。</u></p> <p>・この政策に共通するキーワードは「体験」や「経験」だと思う。それを前面にアピールすることで、もっと浸透しやすくするのではないかと。子どもも体験、経験ということがしっかり入ってくると腹に落ちやすいと思うので、そこは意識しながら進めていただきたい。</p>	<p>・施策 - 1について、「<u>一乗谷朝倉氏遺跡や養浩館庭園、大安寺、越前海岸の水仙畑の文化的景観などの未来に誇れる福井の豊かな歴史や文化について、地域と協力し魅力向上・普及啓発に取り組みます。</u>」に変更。</p> <p>・施策 - 3について、「<u>福井固有の歴史・文化の価値を地域住民が体感し、自ら福井の魅力を発信できるよう、意識の醸成を図ります。</u>」に変更。</p>
4	施策 歴史や文化遺産を保存・継承し活用する	<p>・施策 - 2の「<u>資料を適切に保存・管理し</u>」というのは当たり前ならなければならない話だと思うので、ここに無理して書く必要がない。</p>	<p>施策 - 2から、「<u>資料を適切に保存・管理し</u>」を削除し、「<u>郷土の歴史や文化財に関する資料へのアクセシビリティを高め、未来に承継します。</u>」に変更。</p>
5	施策 自然科学教育で子どもの夢を育てる	<p>・<u>施策 のタイトルが弱い気がする。夢を育てるだけでなく、身につけていくような、人材が育っていくくらいまで強く、積極的に書いてもよいのではないかと。</u></p>	<p>施策 のタイトルについて、「夢」にとどまらず、将来の「生きる力」に繋げるとの意味を込めて、以下の通り修正する。</p> <p>施策 「自然科学教育で子どもの夢を育てる」 「自然科学教育で<u>創造性豊かな子どもを育む</u>」</p>
6	施策 自然科学教育で子どもの夢を育てる	<p>・施策 の「連携の強化」の部分には、一番大事な「地元企業」が漏れている。子どもたちが地元の産業、企業を見直して、福井に住み続ける、Uターンしてくるということにつながるのだから、力を入れていただきたい。</p> <p>・施策 は、政策13の学校教育のキャリア教育プログラムと連携すべきではないか、高校では理数系に力を入れている所もあるが、高校や中学校では連携すべきではないか。</p>	<p>施策 - 2について「<u>地元企業</u>」を追加するとともに、キーワードの「体験」「経験」を考慮し、「<u>大学、地元企業、JAXAなど、関係機関との連携の強化を図ります。</u>また、<u>県民衛星プロジェクトや最先端技術などに触れる学びの場を充実することにより、子どもたちの夢や創造性を育みます。</u>」に変更。</p> <p>政策13の施策 - 3の部分において、「…<u>地域や企業とのつながりを重視したキャリア教育の充実を図ります。</u>」に変更。</p>

具体的な取組として検討

NO	該当箇所	意見の内容	対応
1	施策 市民の心を豊かに育む文化芸術を振興する	・子どもたちに生(ナマ)を見せるのは極めて重要。演劇鑑賞や音楽鑑賞など計画されたものがあるが、予算的に厳しく縮小傾向にあることが危惧される。	フェニックス・プラザや県立音楽堂において、小学生を対象とした演劇観賞やプロの演奏を生で鑑賞する機会を設けており、今後も、引き続き実施をしていく。
2	施策 市民の心を豊かに育む文化芸術を振興する	・巷ではストリートカルチャーが注目されつつあるが、そこまで文化芸術の振興に含めるのか。福井といえばこれというようなものを育てていこうという話なのか。それとも本物を持ってきて本物に触れる機会をたくさん作って出来上がりという話なのか。どちらを目指す予定なのか。	ストリートカルチャーも含め、多様な文化活動に触れる機会を設けていく。
3	施策 市民の心を豊かに育む文化芸術を振興する	・今までよりも中身の濃い、大きな公演ができるような文化会館の整備構想があった。文化活動の中心となる施設も含めて整備する必要があると感じている。 ・博物館や美術館などの公共施設で、予算をつけて魅力的な企画展を行うこともあるが、民間が公共施設を利用してやりたいという意欲を広げることも大切。施設があれば、サンドームでやっているような大きな、魅力のある興行ができるということもあるので、そういうことも念頭に施設面も考えていくべき。	施設整備については、財政再建計画の進捗を見極めた上で判断するため、新文化会館整備基本計画を見直す中で検討していく。
4	施策 市民の心を豊かに育む文化芸術を振興する	・福井は地味、調べないとすごさがわからない。施設整備などでは、民間の人の意見がどれくらい入っているのか。行政だけでやると、市民や県外の人との乖離が起りやすい。行政だけでやるのではなく、民間の人の意見が取り入れられたら、もっと魅力の強いものになるのではないかと。	事業を行っていく際には、プロポーザルやアンケート等を活用し、民間の人の意見を取り入れていく。
5	施策 歴史や文化遺産を保存・継承し活用する	・朝倉氏遺跡には小学生の頃に宿泊学習で行ったことがあるが、それ以降は行く機会がなかった。その後、行きたくても遠くへ行けていない状況だった。小さい子でも簡単にいけるように、小学校・中学校・高校が連携して機会を作るとよいのではないかとと思う。	一乗小学校では、朝倉氏遺跡の観光ガイドを継続的に行っており、今年度は一乗谷朝倉氏遺跡等で実施される日本遺産イベントでPR活動を予定している。これらの活動を周知することで、ふくいの魅力発信に努めていく。
6	施策 歴史や文化遺産を保存・継承し活用する	・福井は越前海岸など水辺の景観がきれいで、それをサイクリングロードと合体して周遊させれば、県民の健康意識の向上や生涯スポーツにも役立つと思われるので、ご検討いただきたい。	政策11「観光に関する政策」において、観光資源の一つである「越前海岸」の磨き上げを行っていく。
7	施策 歴史や文化遺産を保存・継承し活用する	・巡回バスで文化遺産を巡るツアーをやったらよいのでは。	民間企業や各種団体のツアーに使えるよう、歴史遺産等の情報を積極的に提供していくとともに、日本遺産・連携中枢都市圏等の広域的な取り組みの中で、モニターツアー等を活用し、周遊ルートの提案を進めたい。
8	施策 歴史や文化遺産を保存・継承し活用する	・朝倉氏遺跡は保存協会が民間の立場で精力的に活動している。民間団体としての保存協会の活動では限界があるため、行政の支援が必要だと感じる。例えば山城が注目されてきているが、行政が予算をつけて人を呼び込めるための環境整備をしていくことが必要。そういう施策に行政の支援をお願いしたい。地元の方々の努力を吸い上げる方向性を追及していただきたい。	県や市、観光団体等で組織する一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会において、山城の案内板設置や、登山道の整備、案内パンフレットの作成などを行っている。今後も、引き続き山城へ人を呼び込めるための環境整備を行っていく。
9	施策 自然科学教育で子どもの夢を育てる	・セーレンプラネットの8Kの映像施設は、学習としての星の観察だけの利用では、また家族で行こうということにはなりにくい。宇宙科学の分野で、実物はこうだというようなものを上映できるようにしてもらいたい。提携しているのなら、ロケットの打ち上げやJAXAがかかわるもの、月食や日食などリアルな天体のものをデータの提供を受けて、パブリックビューイングを開催するような思い切った施策をお願いしたい。まだ魅力が伝わっていないように感じている。	技術的な課題が多く全天周映像でのリアルタイム投映は難しいが、通常画面でのパブリックビューイングを実施している。今後もJAXAと連携を図りながら、子どもたちが最新の宇宙科学に接することができるような取り組みを進めていく。



政策12 文化、歴史、自然に関する政策

文化や歴史、自然を、郷土の誇りとして未来につなぎ、個性豊かな魅力あるまちをつくる

市民が優れた文化芸術に触れる機会を創出するとともに、文化芸術活動を支える人材育成の支援と環境整備に努めます。
郷土の文化財や伝統文化を大切に保存し、豊かな歴史や文化、自然を将来に残すとともに、福井の誇りとして継承していきます。

現状

人々の価値観やライフスタイルの多様化が進むとともに、心の豊かさが求められる中、文化芸術活動の果たす役割はますます大きくなっています。
このような状況をふまえ、市民が気軽に文化芸術に触れ活動に参加できるよう、人材育成や環境整備を図る必要があります。
また、地域の活力やまちの個性が強く求められる中、郷土の歴史や文化に対する市民の理解を深め、歴史的価値が高い文化遺産や伝統行事を福井の誇りとして継承していく必要があります。
少子高齢化や若年層の都市部への流出が進み、地域の文化や歴史、自然を守る人材が不足するなど、文化財を取り巻く環境は全国的に厳しさを増しています。このような中、文化財の保存はもとより、活用を推進するため地域と連携した総合的・計画的な体制づくりが求められています。
本市の産業や日本の科学技術を支える人材を育成するため、身近な郷土の自然や最先端の科学技術の学習を通して、子どもの自然科学に対する興味を育てることが求められています。

課題

多様な文化芸術活動の振興

歴史や文化財に対する市民の理解と意識の向上、貴重な文化遺産の未来への継承

子どもが郷土の自然や最先端の科学技術に触れる機会の充実

施策

市民の心を豊かに育む文化芸術を振興する

- 1 子どもの頃から、誰もが身近に文化芸術に親しみ、創作活動等に参加できる環境を拡充します。
- 2 文化芸術の担い手を育成し、未来に継承するため、市民や各種団体の活動を支援します。

歴史や文化遺産を保存・継承し活用する

- 3 一乗谷朝倉氏遺跡や養浩館庭園、大安寺、越前海岸の水仙畑の文化的景観などの未来に誇れる福井の豊かな歴史や文化について、地域と協力し魅力向上、普及啓発に取り組みます。
- 4 郷土の歴史や文化財に関する資料へのアクセス性を高め、未来に継承します。
- 3 福井固有の歴史・文化の価値を地域住民が体感し、自ら福井の魅力を発信できるように、意識の醸成を図ります。

自然科学教育で創造性豊かな子どもを育む

- 5 足羽山をはじめとする郷土の自然について、誰もが楽しみながら学べる環境の充実を図るとともに、子どもたちの興味・関心が高まる取組みを推進します。
- 6 県や大学、地元企業、JAXAなど、関係機関との連携の強化を図ります。また、県民衛星プロジェクトや最先端技術などに触れる学びの場を充実することにより、子どもたちの夢や創造性を育みます。

答申案に反映

NO	該当箇所	意見の内容	対応
1	施策 子どもの生きる力を伸ばす学校教育を充実する	<p>・自分がどう生きたいかを自ら発信できるようにするのが本物の生きる力だと思うが、そこが抜け落ちているような気がする。</p> <p>・自分がどう生きていくかを自ら考え、できれば行動する、そういう力を持ってもらえるような教育という視点が重要ではないか。</p>	<p>施策 - 5に記載していた「生きる力」に関する施策を、施策 - 1の部分に記載場所を変更した。</p> <p>また、「家庭・地域・学校が連携し、子どもたちが未来を切り拓くために必要な「生きる力」や「豊かな感性」を育成します。」に修正。</p>
2	施策 子どもの生きる力を伸ばす学校教育を充実する	<p>・幸福度ランキングでも福井は国際についてはランキングが低い。新幹線開業後に外国人が来県すると英語がツールになってくる。英語を話せないと企業に採用されない時代にもなってくる。英語教育に力を入れていただきたい。</p> <p>・市民として将来を担う、主権者として担うという観点が弱いように思う。この計画が始まるころには18歳成年が完全に施行されている。そうすると、中学校卒業までにある程度の公民教育を達成しなければならない。小学校から中学校の発達段階に応じた主権者教育を取り組んでもらいたい。これはキャリア教育と大部分が重なっており、無理なく両立できると思われる。その観点をどこかに反映してもらいたい。</p>	<p>施策 - 2について、「国際理解を深め、世界の中のふくいを意識した教育を推進します。」に修正。</p> <p>施策 - 3について、「子どもたちに夢や希望をもたせ、ふるさとふくいを誇りに思える気持ちを高めるために、地域や企業とのつながりを重視したキャリア教育の充実を図ります。」に修正。</p>
3	施策 子どもの生きる力を伸ばす学校教育を充実する	<p>・インクルーシブな感性が見えてこない。具体的な施策で出せるのかどうかはわからないが、その意識を出してもらいたい。生きていく上での基本的な所がベースにあり、全ての人間を大事にし、それぞれの個性を認めていく、それを道徳と絡めたらどうか。そこは社会づくりの中でみんなが意識できるようにしっかり施策をしていくことを求めている。</p>	<p>施策 - 4「児童生徒が抱える学校生活上の様々な問題に対応するため、支援員を学校に配置します。」と、施策 - 5「不登校やいじめなどの問題の解消を図ります。」を統合し、以下のとおり修正。</p> <p>「不登校やいじめなどの問題、多様な子どもたちへの支援など、子どもたちや保護者が抱える様々な問題に対応するため、支援体制の充実を図ります。」</p>
4	施策 子どもの健康増進を図る	<p>・新たな学校給食センターも含めた大きな方針、それによって学校給食の提供がどう変わるのか、どう改善されるのかを書くべきではないのか。安全・安心でおいしい学校給食を提供するのは当たり前なので、もう少し上のレベルのことを書いてもよいのでは。</p> <p>・より安全な給食を提供するための施設であるということを表現し、より充実していくことを主張してほしい。</p>	<p>施策 - 2について、「安全・安心で心温まる学校給食の提供と子どもの成長を育む食育を推進します。」に修正。</p>
5	施策 学びの場としての学校環境を整備する	<p>・学校環境としては、老朽化とともに新しくしていく中で、近年の猛暑への対策、トイレの洋式化など、現代にマッチした内容にしていかなければならないと思うので、計画的にしっかりやっていくというプランでお願いしたい。</p>	<p>施策 - 1について、「気候変動や感染症対策などに対応できる学校環境整備や施設の計画的な老朽化対策、維持管理を進めます。」に修正。</p>

具体的な取組として検討

NO	該当箇所	意見の内容	対応
1	施策 子どもの健康増進を図る	・小学生のころ、なぜこの子が食べられないのだろうという疑問があり、嫌がらせを受けている子がいた。 <u>アレルギーについての理解を深めるような教育が必要だ</u> と思う。	食物アレルギーについての理解を深めることについては、 <u>学校で行われている食に関する指導の中で取り組んでいきたい。</u>
2	施策 子どもの健康増進を図る	・児童生徒の体力について、全国的には上位だが、視力低下や肥満児の増加は懸念。 <u>幼少期からのスポーツへの接し方は大きな課題ではないか、それが将来的には競技力、生涯スポーツにもつながる。保護者の意識へのかかわりも含めて課題と考えるべきではないか。</u>	教科教育の中で、 <u>競技力だけではなく、「わかる・できる・かかわる」など生きる力の育成を目指し、楽しい体育の実現に努めていきたい。</u>
3	施策 子どもの健康増進を図る	・体力に関して、コロナが2年続くことは想定していなかったが、 <u>子どもたちの体力、健康面への影響のモニタリングによる子どもの体力低下の把握と、それへの対応ということも盛り込んでよいのでは。</u>	児童生徒の実態については、 <u>体力テストの結果や市学校保健会より児童生徒の肥満度、視力、虫歯等の健康状況を合わせて分析し、把握していきたい。</u> 対応については、 <u>児童生徒の実態を鑑みて、各小中学校で実態に合った体力づくりに向けた取組を計画していきたい。</u>
4	施策 子どもの安全を守り、健全な育成を図る	<u>通学路の危険個所の改善について、市としては地元自治会からの吸い上げの努力をしていただきたい。</u>	各学校で設置している「 <u>地域・家庭・学校協議会</u> 」に新たに地元自治会等からも参画してもらい、 <u>意見を吸い上げるよう学校に働きかけていきたい。</u>
5	施策 子どもの安全を守り、健全な育成を図る	・安全の視点でお願いしたいのは、 <u>交通安全に対する学校での教育が必ずしも十分ではないことを感じている。学校でも、子どもへのかかわりと保護者へのかかわりをしていただきたい。</u> ・ <u>自転車の乗り方に対する取り組みが小学校で甘いと感じている。</u> ・ <u>自転車に乗れていない子に対して、自転車の乗り方を教える回数を増やした方がよい。</u>	交通安全講習会(教室)については、 <u>学校において年1回行っている。関係所属と協議しながら保護者への啓発を行っていきたい。</u> 交通安全講習会(教室)を複数回開催することについては、 <u>学習指導要領の改訂による授業時数の増加も考慮しながら、関係所属と協議していきたい。</u>
6	施策 子どもの安全を守り、健全な育成を図る	・ <u>行政としては安全性を確保できる道路整備、通学路整備が重要。</u> ・ <u>自転車通学の子どもが安全に走られる環境整備が必要。</u>	安全な通学路整備については、 <u>福井市通学路安全プログラムに基づく合同点検で現地確認等を行いながら改善の実施検討を行っており、今後も警察や道路管理者等関係機関と連携しながら、この取組を継続していきたい。</u>
7	施策 子どもの安全を守り、健全な育成を図る	・ <u>市P連はシートベルトの着用について何かできないかを考えているので、関係機関と連携を図っていくことも含めて、学校教育として施策を考えてもらえたらと思う。</u>	警察などの関係機関と連携しながら、 <u>交通安全啓発の活動が効果的なものとなるよう考えていきたい。</u>
8	施策 子どもの安全を守り、健全な育成を図る	・ <u>コロナ禍によるコミュニケーション能力の低下が心配。インターネットの適正利用にもかかわるかもしれないが、力を入れていかないと怖いので、検討してもらいたい。</u> ・ <u>子どもが自宅で端末を利用する場合に、不適切なサイトへのアクセスをどう防いでいくかは大きな問題である。フィルタリングの一番の問題は、保護者の意識によるところが大きい。</u>	児童生徒や教職員に対し、 <u>インターネットの適正利用にかかる啓発活動(例:情報モラル教室の開催)の中で、コミュニケーションの重要性についても呼びかけていく。</u> また、 <u>保護者に対しても「情報モラル教室」への参加を呼びかけ、フィルタリング設定の重要性など、インターネットの適正利用について、関係機関と連携して意識啓発を図っていく。</u>
9	施策 子どもの安全を守り、健全な育成を図る	・ <u>子どものSNSでのやりとりを、保護者がしっかりと把握することが必要。</u>	市内全小中学校では、 <u>県教育委員会が策定した「ふくいスマートルール」に基づき、学校独自のルールを作成している。家庭においても、保護者と児童・生徒が話し合いながらルールづくりを行うよう促していく。</u>
10	施策 子どもの安全を守り、健全な育成を図る	・ <u>タブレット端末の利用は、子どもの発達段階に応じて適正に活用していくことが必要である。自らが情報発信する際のリテラシーも教育する必要がある。</u>	タブレット端末を活用するにあたり、 <u>子どもの発達段階に応じた「情報モラル教室」を開催し、適正な利用を促していく。</u>
11	施策 学びの場としての学校環境を整備する	・ <u>学校規模適正化について、自治会連合会との関係や各種団体との関係もあり、一般行政部局のかかわりも一層必要になると考えているのでお願いしたい。</u> ・ <u>公民館も老朽化し順次建て替え、改修が進んでいくが、アンバランスな地域設計になりかねない分岐点に来ていると思われるので、総合的な視野から取り組んでほしい。</u>	学校規模の適正化については、 <u>学校規模適正化検討委員会の答申を踏まえ、学校の統廃合だけでなく、他の公共施設との複合化や地区の状況を十分に配慮した上で、しっかりと協議を進めていきたい。</u>
12	施策 学びの場としての学校環境を整備する	<u>ICTは、便利な道具としてだけでなく、時間と空間を超えて活用できるのが強み。それを外すと単なる便利な道具でしかなくなり、それでは教育効果は上がってこないと思う。</u>	<u>教育効果を高めるために、オンラインによる交流活動を充実させていく。効果的な活用について実践事例を増やしていく。</u>



政策13 学校教育に関する政策

健やかで自立心をもって未来を切り拓く子どもを育むまちをつくる

家庭や地域をはじめ、企業や団体と連携し、質の高い学校教育や学習体験を行い心身ともに健康な子どもを育てます。
安全で充実した学習活動が行えるように学校環境を整備します。

現状

少子高齢化の進行、グローバル化の進展や技術革新など、社会情勢がめまぐるしく変化する中、子どもたちがそれぞれの夢の実現に向け、個性と能力を發揮して力強く生きていくための教育が求められています。

本市では、学力体力全国トップクラスの教育環境のさらなる充実を図るため、ALT（外国語指導助手）の配置などによるグローバル人材の育成、ICTの活用などによる情報教育や、キャリア教育を推進しています。

また、児童生徒が抱える学校生活上の様々な問題に対応するため、支援員を配置しています。

学校給食では、安全でおいしい給食であることに加え、児童生徒が持つ多様な食物アレルギーに対応した給食の提供が求められています。

また、学校の内外において、子どもたちへの事故等为了避免するためには、危険箇所の改善等による安全な教育環境の整備が重要です。

今後多くの地域で人口減少・少子化が進行する中、子どもの学びの視点での学校規模適正化を基本としつつ、学校が地域の活動や活力に果たす役割を踏まえた対応が求められています。

課題

社会の変化に対応できる児童生徒の育成

児童生徒の体力向上と健康の保持増進、安全でおいしい給食の提供

子どもの安全確保と健全育成

学びの視点による学校規模の適正化の推進、充実した学校環境の整備

施策

子どもの生きる力を伸ばす学校教育を充実する

- 1 • 家庭、地域、学校が連携し、子どもたちが未来を切り拓くために必要な「生きる力」や「豊かな感性」を育成します。
- 2 • 国際理解を深め、世界の中のふくいを意識した教育を推進します。
- 2 • 子どもたちに夢や希望をもたせ、ふるさとふくいを誇りに思える気持ちを高めるために、地域や企業とのつながりを重視したキャリア教育の充実を図ります。
• ICTを利用した学習やプログラミング教育を通し、ロボットやAIを活用する新しい社会（Society5.0）で活躍できる力を育成します。
- 3 • 不登校やいじめなどの問題、多様な子どもたちへの支援など、子どもたちや保護者が抱える様々な問題に対応するため、支援体制の充実を図ります。

子どもの健康増進を図る

- 4 • 児童生徒の体力の維持向上と健康の保持増進に努めます。
- 4 • 安全・安心で心温まる学校給食の提供と子どもの成長を育む食育を推進します。

子どもの安全を守り、健全な育成を図る

- 通学路の安全を図るため、関係機関と連携して危険箇所の改善に取り組みます。
- インターネットの適正利用にかかる啓発活動を推進し、生活習慣の乱れや犯罪被害の防止に努めます。
- 家庭、地域及び関係団体が連携して、青少年交流や郷土学習、見守り活動などに取り組み、未来を担う子どもたちの健やかな成長を目指します。

学びの場としての学校環境を整備する

- 5 • 気候変動や感染症対策などに対応できる学校環境整備や施設の計画的な老朽化対策、維持管理を進めます。
- ICT環境の整備を進め、ICTを活用した教育を推進します。
- 学校規模の適正化に向けた協議を進めていきます。

政策14 生涯学習、生涯スポーツに関する政策

答申案に反映			
NO	該当箇所	意見の内容	対応
1	施策 市民の生涯学習を支援する	・公民館が持つまちづくり拠点としての役割について、今後、どの方向に進んでいくのかを課題として考えているのであれば、そのような表現を盛り込むべきである。 ・従来の考え方を見直し、公民館の活用をもっと広げていく必要がある。 ・「さらなる充実を図り…」の文言を、「強化」といった言葉に変えてもらえると良い。	施策 -1について「市民の自主的な学習や多様な活動の拠点となる公民館のさらなる機能の強化を図ります。」に変更。
2	施策 市民の生涯学習を支援する	・コロナ禍で孤独を感じているかどうかの調査を行ったところ、多くの人がいろんな世代の人と繋がりたいと思っていることが分かった。このような場として公民館を活用できるといい。 ・集まらずに済むものは、Zoomを使っているが、これだけでは地域コミュニティの希薄化につながりかねない。対面でやることとWebでやることの住み分けが必要。 特に、公民館は対面型の施設として機能させてほしい。	施策 -2について「公民館において、幅広い世代に対して多様な学習機会や気軽に集える場を提供し、地域住民の交流を促進します。」に変更。 「新たな日常の実現に向け…」は削除
3	施策 市民の生涯スポーツを支援する	・イベントや大規模スポーツだけではなく、ベーシックな市民のスポーツ習慣の活性を図る視点が抜けているので、施策に盛り込んでどうか。 ・生涯スポーツを考えるにあたり、高齢者のことも考えないといけない。高齢者の方が運動がしやすい環境を整えることは課題である。	施策 -3について、「市民が生涯にわたり、スポーツを通して、心身ともに健康で活力ある生活が送れるようスポーツ活動の充実を図ります。」を新たに追加。
4	施策 市民の生涯スポーツを支援する	・競技人口の状況に照らして、既存のスポーツ施設を見直していくべき時期に入っている。スポーツ施設の効率的な活用を目指してもらいたい。 ・小中学校の体育館の予約は満杯な状態。市民ニーズに応じてスポーツ活動を活発化させていくためには、施設のキャパシティをどう確保していくかが重要。	施策 -4について「競技人口や環境の変化など時代のニーズに応じたスポーツ施設の整備を進めます。」に変更。

具体的な取組として検討

NO	該当箇所	意見の内容	対応
1	施策 市民の生涯学習を支援する	・子どもたちが公民館に足を運ぶ機会を作ることは、将来の地域を守る上で非常に重要。行政として中学生がもっと公民館に関わるように推進してほしい。 ・スマホを使えない高齢者世代にどう教育していくのかは行政の課題である。先生役を中高生が担うようにすれば中高生を公民館に関わらせることができる。	スマートフォンの操作については、今後も公民館教育事業「市民IT事業」の中で、講習会を行っていく。 中高生の活用については、学校教育との兼ね合いをふまえながら、今後の事業展開の中で参考とさせていただく。
2	施策 市民の生涯学習を支援する	・福井の特色として、小学校区ごとに公民館が整っている地域は他県にはない。まちおこしのためにもっと公民館に予算を投入してほしい。	公民館の運営費に関することは、実施計画を策定する際に、盛り込んでいきたい。
3	施策 市民の生涯学習を支援する	・各地区の公民館で成人式のイベントをやっている。18歳となる時期をとらえ、地域の担い手であることを若者に伝えることが重要。	成年年齢が18歳となることに伴う対応については、公民館教育事業「青年教育」の中で検討していく。
4	施策 市民の生涯スポーツを支援する	・テニスをやりたい、となったときにその情報がまとまっていないので情報がほしい。 ・スポーツ活動情報のプラットフォームがあるとよい。 ・一人で筋トレができるような遊具がある公園などをまとめた地図があると便利。	スポーツ協会と連携し、各競技団体が開催する試合や教室の情報や、だれでも気軽に利用できるスポーツ施設の情報等を、ホームページなどを通じて広く市民に発信していく。
5	施策 市民の生涯スポーツを支援する	・福井をホームタウンにしているプロチームができてきたが、経営的に大変な状態である。市民の方がまとめて応援するようなスポーツ文化の醸成も重要。	応援文化の醸成に、積極的に取り組んでいく。
6	施策 市民の生涯スポーツを支援する	・子どもたちがスポーツに親しむ機会をもっと提供していくことが必要。各競技団体に任せるばかりではなく行政がスポーツに親しむ機会の入口を提供してほしい。	身近でスポーツ活動に取り組める出前講座など、学校や公民館等を通して広く情報発信していく。
7	施策 市民の生涯スポーツを支援する	・行政としてこういう方向を目指していくので、市民の皆さん、一緒にやりましょう、ということをしてほしいのか。どのようにスポーツの底上げをするのか。	これまでも、体操教室やファミリーミニマラソンのほか各競技団体、地区スポーツ団体を通じて各種事業に取り組んでおり、今後も、広く市民が参画できるようスポーツ活動のさらなる充実を図っていく。



政策14 生涯学習、生涯スポーツに関する政策

市民が生涯にわたり、
学習やスポーツに親しめるまちをつくる

地域の人々が気軽に集まることができる場の充実を図り、子どもから高齢者まで誰もが学習やスポーツに取り組み、生きがいを持って暮らすことのできる環境を整備します。

現状

人口減少の進行や感染症の感染拡大に伴い、地域コミュニティの重要性が再認識されている中で、地域の中核施設であり、災害時の活動拠点の役割も兼ね備えた、公民館への期待が高まっています。

本市の公民館は全国的にも高い評価を得ており、郷土学習についても、すべての公民館で積極的に実施されています。

図書館は、知識の宝庫として多くの市民に利用されていますが、高齢化が進行していることから、安全で快適な利用環境を提供するため早急な対策が必要となっています。

福井国体・障スポを契機として、市民のスポーツに対する関心は高まっています。また、「する」スポーツだけでなく、「見る」「ささえる」など、スポーツへの関わり方も多様化しています。

近年のスポーツ施設については、競技大会だけではなく、大規模な会議やイベント等が開催され、既存の枠組にとられない利用方法によるニーズが高まっています。

課題

市民が集い活動する場の
創出、郷土学習の充実

それぞれのライフステージ
に応じてスポーツに親しみ、
楽しむことができる環境の整備

施策

市民の生涯学習を支援する

- 1 市民の自主的な学習や多様な活動の拠点となる公民館のさらなる機能の強化を図ります。
- 2 公民館において、幅広い世代に対して多様な学習機会や気軽に集える場を提供し、地域住民の交流を促進します。
- 福井の歴史や文化を学び体験する機会を提供し、地域への愛着を醸成します。
- 図書館において、本を読む・借りるだけでなく、市民が集い、学習し、交流できる環境づくりを進めます。

市民の生涯スポーツを支援する

- スポーツの持つ可能性を最大限に活かして、スポーツイベントの開催やスポーツ大会などの誘致を進めることで、スポーツを活かしたまちづくりを推進します。
- 県や周辺市町、民間事業者などと連携し、オール福井で大規模なスポーツイベントに取り組み、スポーツを通じた交流人口の拡大を図ります。
- 3 市民が生涯にわたり、スポーツを通して、心身ともに健康で活力ある生活が送れるようスポーツ活動の充実を図ります。
- 4 競技人口や環境の変化など時代のニーズに応じたスポーツ施設の整備を進めます。

他の専門部会からの関連意見と対応状況

部会／政策	委員の意見	関連する部会／政策	審議内容	対応状況
【第2部会】 政策5 「共生、協働に関する政策」	・医療や介護の現場で外国人の看護師や介護士も増えてきているので、 <u>(外国人の労働) 環境整備ということも入れてもらう方がよいのではないか。</u>	【第3部会】 政策10「商工業に関する政策」 施策④「多様な人々が活躍できる雇用環境を推進する」	・「外国人」と入れると、日本人はどうするのか、となるので、少し和らげる意味で、「国内外を問わず多様な人々が」としてはどうか。	「多様な人々が…」の表現に、 <u>外国人も含まれていることから、文言については、変更しないこととした。</u>
【第1部会】 政策2 「中心市街地に関する市政策」	・中心市街地におけるにぎわいの創出にあたり、再開発や新幹線が整備された後の視点に立つと、 <u>夜間の賑わいや回遊性などを入れていってもよいのでは。</u> ・特にA街区の再開発については、「どのようにして夜間の賑わいを出していくか」という視点で考えている。 ・ホテルや住宅の整備が増えてくる中で、夜間のにぎわいをどう作り、どう回遊させるかも謳われているとよい。	【第3部会】 政策11「観光に関する政策」 施策③「おもてなしの充実を図る」	・夜間観光については、既に政策11に「 <u>夜間景観の創出による魅力向上…に取り組みます</u> 」と記載されている。 ・ <u>具体的な事業として、必要であれば入れていくというようなことでさせていただきます。</u>	議論の結果、夜間観光については、 <u>具体的な取組として検討していくこととなった。</u>
【第1部会】 政策2 「中心市街地に関する政策」	・中心市街地におけるにぎわいの創出にあたり、 <u>(観光やプロモーションの一環として) アニメ、ドラマ、小説などと連携した仕掛けを創出していくということもどうか。</u> ・福井を訪れる人で小説の舞台を巡る「 <u>聖地巡礼</u> 」を行っている人もいるようなので、そういう方向にも力を入れるというニュアンスのことが入れられないか。	【第3部会】 政策11「観光に関する政策」 施策②「誘客プロモーションを強化する」	・アニメの聖地巡礼というのはあるが、 <u>ドラマや映画などのロケ地を巡るロケツーリズムなどは既に行っている。</u> 個別の施策としてはいい施策だとは思いますが、この政策の中の一つとして、ちょっとアニメに限定するのはどうか。 ・ <u>具体的な事業の段階でもし必要であれば入れていくというようなことでさせていただきます。</u>	議論の結果、ロケツーリズムについては、 <u>具体的な取組として検討していくこととなった。</u>
【第4部会】 政策13 「学校教育に関する政策」	・交通安全に対する学校での教育が必ずしも十分ではないと感じている。福井市ではほぼ全園でやまびこクラブが組織され、子供たちに対する交通安全教育がなされている。 ・ <u>小学校、中学校でも実践されていることは承知しているが、危険な状態がみられる。学校でも、子供へのかかわりと保護者へのかかわりをさせていただきたい。</u> ・ <u>自転車の乗り方に対する取り組みが小学校で甘いと感じている。大人が運転免許更新の際に、(教習所で)ビデオを見るように、子供たちにも交通事故が怖いということを意識づけてほしい。福井は交通マナーが悪いので、子供たちに教えていくことが大事。</u>	【第2部会】 政策8「防災、安全安心に関する政策」 施策⑤「交通安全対策を推進する」	・安全対策については、警察が動いてくれることが一番効果があると思う。 「 <u>関係機関と連携して</u> 」というところを、「 <u>警察と連携して</u> 」と書ければ良い。 ・「 <u>警察や学校など関係機関と連携して</u> 」としてはどうか。学校については、別の部会からのご意見もあったので、一度、書き方を検討させていただく。	施策⑤-1について「 <u>交通安全推進団体や、警察、学校などの関係機関と連携して、交通安全の普及に取り組み、交通マナーの向上や交通安全意識を高めます。</u> 」に変更。